

令和 5 年度(2023 年度)

事業報告書



社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会

目 次

◎事業運営における重点目標の結果	1
【事業区分：社会福祉事業】	
I 法人本部拠点区分	4
1 法人拠点事業	
II 老人福祉センター拠点区分	11
1 老人福祉センター事業	
III 福祉会館拠点区分	12
1 小地域福祉活動支援事業	12
2 ボランティアセンター事業	17
3 援護事業	23
4 子育て援助活動支援事業	25
IV 平塚栗原ホーム介護拠点区分	27
1 日常生活自立支援事業	27
2 介護に関する入門的研修事業	28
3 特定相談支援事業	28
4 生活介護事業	29
V 豊田分庁舎拠点区分	32
1 地域子育て支援拠点事業	32
VI 暮らしサポート拠点	33
1 生活支援事業	33
2 貸付事業	33
3 生活困窮者自立支援事業	34
【事業区分：公益事業】	
I 福祉会館拠点区分	37
1 介護者支援事業	
II 平塚栗原ホーム拠点区分	39
1 法人後見事業	39
2 居宅介護支援事業	40
3 地域包括支援センター事業	41
4 成年後見利用支援センター事業	43
5 高齢者権利擁護応急的事務管理事業	45
6 在宅医療・介護連携推進事業	45
7 システム会議運営事業	47
【事業区分：収益事業】	
I 福祉会館指定管理拠点	49
1 福祉会館運営事業	
II 栗原ホーム指定管理拠点	51
2 平塚栗原ホーム運営事業	
◎別表1 社会福祉基金事業一覧表	52
別表2 年末たすけあい配分事業一覧表	54

◎令和5年度事業運営における重点目標の結果

1. 相談支援体制の強化

市社協には、福祉領域に留まらない地域生活課題全般に対応できる総合相談体制が求められています。医療や法律分野等とのネットワークを生かし、体制の強化を図ります。市社協内部で相談に従事する職員のスキル向上、部署間での情報共有等連携を密にし、どこの部署においてもいかなる相談にも乗ることに取り組み、相談者に必要な支援に繋げることに努めます。

【重点目標の結果】

社協内で相談業務に関わる部署の連携を強化し、相談体制を構築させる目的で相談業務連絡会を5回開催しました。コミュニティ・ソーシャル・ワーカーが中心となり、個別の困難ケースの課題解決を目指し、本人にとって最も良いと思われる支援方法を検討しました。

相談業務に限らない全職員向けの研修会では、重層的支援体制整備事業について学ぶと共に、事例を通して互いの相談機関の機能を知り、部署間での情報共有と連携の強化を図りました。

また、高齢者よろず相談センターゆりのきでは地域ケア個別会議、成年後見利用支援センターではケース検討調整会議を開催し、地域住民や専門職等の関係者の皆様と共に課題解決を目指しました。

2. コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの活動推進

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、地域で抱えている福祉サービスだけでは対応できない生活課題等の抽出を継続し、インフォーマルサービス等を必要に応じて創出しながら地域の中で課題解決ができるよう、地域関係団体との連携強化を図り、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの活動を活発にしていきます。

【重点目標の結果】

コミュニティ・ソーシャル・ワーカー周知のためのチラシを作成し、市役所、公民館、病院、地域関係団体等に配付すると共に、福祉だよりに特集で活動内容を掲載した結果、年間165件の新規相談がありました（昨年度92件）。地域の中で、複雑化・複合化したケースが増える中、どこにもつながっていない狭間のケースに対応するため、個別ケース会議等で（今年度51回参加）行政、学校、関係機関、地域関係団体、住民等と連携しながら支援にあたりました。

3. 企業等への貢献活動の参加促進

企業等で取り組まれる寄付やボランティア活動などの貢献活動は再開されつつあります。企業等の特性を住民課題の解決や地域福祉活動に結び付け、地域社会への

貢献促進につながるよう努めます。賛助会員への加入促進のほか企業等に向けた福祉学習の機会を提供します。

【重点目標の結果】

企業賛助会費と併せ社会福祉基金、共同募金への協力や企業が社会貢献として取り組める情報提供をダイレクトメールにて行いました。また新規に取引を行った業者等にも積極的に協力を依頼しました。

企業賛助会員に対し、従業員研修等に提供できる福祉教育・福祉学習のチラシを送付し興味のある企業に対してはパンフレットの配付を通じて、貢献促進につながるよう促しました。

子ども・子育て支援ネットワークのアンケートプロジェクトでは、アンケートを実施するにあたり、アンケートチラシの作成費を西ロータリークラブ他、市内企業の協賛を得ることができました。

4. 生活困窮者への支援の充実

生活困窮世帯の増加により支援の必要性が高まっています。くらしサポート相談（生活困窮者自立相談支援事業）を主とする相談支援と並行して、寄付物品受け入れと配分、日用品支給事業の充実化を図ります。

また、子ども貧困対策支援事業は開始から3年目を迎えます。貧困状態にある子どもの健やかな成長を支えられるよう、市社協として行政や子育て支援者等とのネットワークを活かし、食糧支援及び子ども食堂、学習支援活動団体への補助事業を強化します。

【重点目標の結果】

関係機関等より寄付物品を受入れ、生活困窮者へ食材や物資を116件配分しました。また、職員から募った不要な家電を備蓄し、生活家電を所持していない生活困窮者等へ支給しました。

食糧支援の一時保管場所として福祉会館内のスペースを提供し、子ども食堂、学習支援活動団体への補助事業に役立てました。

5. 子育て支援のプラットフォーム

行政や子育て支援団体等と構築している子ども・子育て支援ネットワークでは、推進委員会、部会、各種プロジェクトを展開し、様々な企画や交流会を行います。平塚市で安心して子育てをすることができるよう、参加団体の増加等ネットワークを強化していきます。

【重点目標の結果】

子育て支援のプラットフォーム構築を目的として各プロジェクトが実施したワークショップや交流会イベントを通じ、ネットワーク参加団体の増加につながりました。

アンケートプロジェクトで回収した600件のアンケート結果は平塚市に報告した。学習支援・子ども食堂プロジェクトでは、「学習・食堂ボランティア講座」の実施により、講座参加者がボランティア活動をスタートすることができました。

6. 災害時支援体制の強化

平塚市が地震や風水害などで被災地となった場合に備え、災害ボランティアセンター設置運営訓練の継続、災害ボランティア登録のデジタル化推進、関係機関との連携を強化しています。災害ボランティア活動への関心を深め、住民相互の共助など安心安全な地域社会づくりを目指します。

【重点目標の結果】

ICTを活用した災害ボランティアセンターの受付や募集、運営方法等を他県の事例を参考に検証しました。

災害ボランティアセンター設置運営訓練では、113人（関係団体42人、地区社協部会47人、登録ボランティア24人）の参加があり、連携の強化を図りました。また、災害ボランティア登録と受け入れ態勢のデジタル化構築に向け、事前申し込みから当日の受付や報告まで二次元コードを活用し効率化を進めました。

7. 自発的な事業展開

職員一人ひとりが地域福祉を推進する組織の一員としての自覚を持ち、新しい発想や柔軟な対応を意識し、住民からの信頼を得て社協ブランドを向上するよう努めます。市社協として行っている事業について、新たなニーズに応じた自発的な事業展開に努めます。受託事業についても受け身にならず、市社協に任された意義を十分に踏まえ、積極的に取り組みます。

【重点目標の結果】

制度のはざま等で行政サービスでは対応しにくいニーズに基づいて様々な講座を開催しました。

各部署において必要な各種研修を受講して職員の自己研鑽に努めたほか、職員提案制度を活用して新しい発想や柔軟な対応について意識するよう取り組みました。

事業区分：社会福祉事業

I. 法人本部拠点区分

1. 法人拠点事業

(1) 役員等会議

ア. 正副会長会議（1回）

次年度の事業計画及び予算案を理事会に提出するための内容確認を行った。

開催日 3月5日(火)

イ. 理事会（定数11人・8回）

法人運営に関する諸議案を議決した。

開催日 4月3日(月)、6月6日(火)、6月23日(金)、8月2日(書面開催)、
9月12日(火)、12月12日(火)、2月20日(書面開催)、3月19日(火)

ウ. 監事監査（定数2人・1回）

令和4年度を対象とした事業報告及び決算の監査を行い、監査報告を作成した。

開催日 5月26日(金)

エ. 定時評議員会（定数25人・1回）

理事会から上程された令和4年度事業報告及び決算について審議し、原案どおり承認した。

開催日 6月22日(木)

オ. 臨時評議員会（定数25人・4回）

理事会から上程された議案を決議した。

開催日 8月28日(書面)、9月28日(木)、12月20日(書面)、3月28日(木)

カ. 評議員選任・解任委員会（定数5人・2回）

理事会から推薦された評議員候補者について審議を行い選任した。

開催日 6月7日(水)、8月21日(月)

キ. 役員研修

開催なし

(2)事務局運営

ア. 正会員と会費

会員区分		会員数	金額（円）
1号会員	地区社会福祉協議会	23	155,600
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	79,200
4号会員	保護司会	1	13,200
5号会員	社会福祉施設	149	422,000
	(法人)	(34)	(102,000)
	(施設)	(89)	(267,000)
	(地域作業所)	(26)	(53,000)
6号会員	当事者団体	13	39,000
7号会員	社会福祉活動団体	14	42,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	2	-
合 計		230 件	762,000 円

イ. 賛助会員と会費 23 地区(300 円未満の協力会員を含む)

56,610 件 17,471,914 円 1 件あたり平均 308 円

(うち、特別賛助会員会費 1 口 5,000 円 131 件 749,014 円)

	件数	賛助会費	特別賛助 会員件数	特別賛助 会員会費	合計
富 士 見	3,642	1,142,850	0	0	1,142,850
崇 善	2,970	604,200	19	95,000	699,200
松 原	1,639	519,600	1	5,000	524,600
港	3,075	971,410	13	95,000	1,066,410
花 水	3,135	930,380	0	0	930,380
なでしこ	2,232	669,700	0	0	669,700
八 幡	1,427	473,050	0	0	473,050
真 土	2,004	596,350	0	0	596,350
四 之 宮	2,491	731,840	36	195,000	926,840
中 原	2,944	897,170	0	0	897,170
南 原	1,200	360,000	0	0	360,000
松 が 丘	1,814	531,060	2	54,014	585,074
豊 田	1,165	338,500	0	0	338,500
田 村	2,910	873,000	34	170,000	1,043,000
大 神	1,057	334,550	0	0	334,550
横 内	2,319	625,350	0	0	625,350
城 島	850	472,990	0	0	472,990
岡 崎	2,526	781,150	25	130,000	911,150
金 田	2,599	747,600	0	0	747,600
土 沢	1,191	357,300	1	5,000	362,300
旭 南	4,470	1,204,250	0	0	1,204,250
旭 北	4,656	1,313,260	0	0	1,313,260
金 目	4,163	1,247,340	0	0	1,247,340
合 計	56,479	16,722,900	131	749,014	17,471,914

ウ. 企業賛助会員会費（市内の企業、事業所等の会員）

1 口 5,000 円 43 社 59 口 295,000 円

エ. 社会福祉士相談援助実習受入れ 延べ 8 人（120 日間）

- ・ 神奈川社会福祉専門学校 2 人（ 32 日間）
- ・ 東海大学 4 人（ 56 日間）
- ・ 明治学院大学 1 人（ 24 日間）
- ・ 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 1 人（ 8 日間）

オ. 職員対象自主研修

コロナ禍により自粛していた職員研修を再開し、使命である『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進』のためのコミュニティワークの実践を目指し、職員の人材育成とスキルアップ、ガバナンスの強化、マネジメント能力向上を目的に研修を実施した。

対面方式の研修に加え、学ぶ時間と場所を選択しやすい動画視聴や書面開催も取り入れた。

9 講座 参加人数 508 人

	研修名（対象）	日程	参加人数
1	個人情報保護に関する研修（全職員）	12 月 12 日（火）～ 1 月 19 日（金）	129 人
2	個人情報保護に関する研修（班長以上）	同上	14 人
3	コンプライアンス・ガバナンス研修（班長以上）	9 月 25 日（月）	14 人
4	情報セキュリティ研修（班長以上）	1 月 29 日（月）	14 人
5	傷病者発生時対応マニュアル研修（福祉会館管理担当職員）	2 月 6 日（火）、8 日（木）、20 日（火）	延べ 17 人
6	普通救命講習（AED）（希望者）	6 月 23 日（金）、8 月 1 日（火）	3 人
7	ハラスメント防止研修、人権研修（全職員）	11 月 20 日（月）	129 人
8	重層的支援体制事業を学ぶ（希望者）	10 月 27 日（金）、31 日（火）	59 人
9	メンタルヘルス研修（全職員）	2 月 27 日（火）～ 3 月 19 日（火）	129 人

カ. 後援・協賛事業

次の事業に、後援・協賛した。 20 件

	事業・行事	申請団体
1	福祉のしごと 地域就職相談会 in 平塚	(福)神奈川県社会福祉協議会
2	Yes, 愛 D0! 音楽祭	YES 愛 D0 を育てる会
3	第 26 回湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティー公演	湘南平塚福祉芸能実行委員会
4	第 24 回神奈川県視覚障害者福祉大会	NP0 法人神奈川県視覚障害者福祉協会
5	設立 20 周年記念事業「教えて！成年後見、いま・これから」	(特非)NP0 成年後見湘南
6	アート×ハート展 2023	ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会
7	平塚子ども縁日-「伝えたい」に、言葉はいらない-	(一社)トンガリーズ
8	2023 フォト四季写真展	フォト四季
9	平塚市子どもの家自主事業「科学マジックショー」	平塚市青少年課
10	第 59 回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	平塚市老人クラブ連合会
11	第 21 回 湘南説法会	平塚市仏教会

	事業・行事	申請団体
12	成年後見制度公開講座（無料相談会同時開催）	(公社)コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部 小田原東地区
13	第70回神奈川県社会福祉大会	(福)神奈川県社会福祉協議会
14	2023 浅間祭	浅間祭実行委員会
15	第51回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	平塚老人クラブ連合会
16	ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場 平塚大会	(公財)国際障害者記念ナイスハート基金
17	県精連ハートメッセージ 2023 in 茅ヶ崎	(特非)神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会
18	第20回湘南ひらつかマジシャンズ発表会	湘南ひらつかマジシャンズ
19	第53回ゆめクラブ湘南平塚 趣味の作品展	平塚市老人クラブ連合会
20	令和5年度市民健康講座(平塚市医師会・神奈川県医師会・かながわ健康財団 共催)	(一社)平塚市医師会

キ. 事故発生報告	合 計	8 件
・利用者事故		
・老人福祉センター利用者の体調不良による救急搬送		3 件
・家族介護リフレッシュ事業講師転倒		1 件
・職員事故		
・車両物損事故		1 件
・生活介護事業送迎車内の転倒骨折		1 件
・囲碁ボール大会運営中の転倒		1 件
・事務連絡中の転倒骨折		1 件
・トラブル		0 件

ク. 苦情申し立て 0 件

ケ. 情報公開 申請件数 0 件、公開 0 件

(3)広報宣伝事業

ア. 福祉だよりひらつか発行

福祉に関する普及啓発、情報発信を行った。様々な福祉事業を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を6回発行した。（自治会回覧方式により各号の発行部数は12,000部）

発行月	5 月	第 149 号	7 月	第 150 号	9 月	第 151 号
	1 1 月	第 152 号	1 月	第 153 号	3 月	第 154 号

イ. 顕彰（敬称略）

（ア）社会福祉功労者表彰

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、社会福祉関係功労者の表彰式典を行った。

開催日 1 月 1 4 日(日)

場 所 平塚市中央公民館 4 階小ホール 参加 83 人

- ・平塚市社会福祉協議会会長特別功労（1 人）

持 田 修

- ・平塚市社会福祉協議会会長表彰（13 人）

地区社会福祉協議会 今井光子 池田芳江 鈴木カツ子 古西宏美
常盤幾代

民生委員児童委員 小原住子 佐藤洋子
 保護司 安藤哲史 磯崎ひとみ 梶原俊也 林 啓之
 当事者団体 龍崎健雄
 社会福祉活動団体 増田 登

- ・平塚市社会福祉協議会会長感謝（18人・1団体）

地区社会福祉協議会

山仲満智子 秋山雄一 細井 高 山崎正美 家城義明
 原川久代 長南悦子 濱田加代子 福田英子 福田せつ子
 横尾明美 福田恵子 糸洲重子 福本康子 中島幸子

当事者団体 小林義治
 ボランティア 齋藤克子 加藤富子

社会福祉活動団体 カベラ日本語の会

- ・厚生労働大臣表彰 ボランティア功労者（1人）国峰千佳子
- ・平塚市長表彰 自立支援功労者（2人）高橋房枝 羽生千鶴子

（イ）神奈川県社会福祉大会

11月7日（火）県立青少年センターにおいて次の方々が顕彰された。

- ・神奈川県知事表彰（1人）

ボランティア 相原立子

- ・神奈川県社会福祉協議会会長表彰（23人）

平塚市民生員児童委員協議会 小原住子

民間社会福祉事業所

斉藤洋子 畠山洋子 服部裕子 柳田規子 伊藤智子
 岩本百代 川崎菜美 川瀬貴之 久保田早苗 田中麻里
 田淵弥生 東 清美 松屋美加子 若林いずみ 市川正嗣
 横山順一 窪田友美 柏木あずさ 岩渕佐知子 山寄健太郎
 鈴木雅美 金原孝明

- ・神奈川県社会福祉協議会会長感謝（12人）

平塚市民生員児童委員協議会 梶山富子

民間社会福祉事業所

有瀧富子 市川 歩 藤川浩児 湯川智子 飯塚久子
 小山智子 山岸静江

県立子ども自立生活支援センター

石井謙次郎 甲斐義章 高橋美和 野崎知子

- ・共同募金功労者表彰・感謝（2団体13人）

神奈川県知事表彰 平塚信用金庫 湘南農業協同組合

神奈川県共同募金会会長表彰

小倉俊宏 小川 誠 大貫一生 田中利夫 荒木 學
 小玉洋忠 小室次男 山崎 正 菅原勝史 鈴木文彦
 鈴木敬一 金子 洋 伊川直樹

（ウ）全国社会福祉協議会会長表彰

神奈川県社会福祉協議会の推薦により次の本会職員が表彰された。

久保川宏一

（4）社会福祉展

本会の会員である社会福祉施設等を利用している方々の作品展示を通じ、より多くの市民に社会福祉について理解を深めていただくことを目的に開催した。

開催期間 10月19日（木）～10月22日（日） 4日間

出展施設 56 施設 内訳：高齢者入居施設・デイサービスセンター13、
障がい者施設 15、保育園 24、市内通所サービス施設 4
来場者数 669 人（うち施設の見学 延べ 21 施設）

(5)委員会

ア. 総合企画委員会（委員 10 人）

既存事業の評価とともに中期経営計画の検討を行った。

開催日 2月16日(金)

イ. 総合企画委員会小委員会評価委員会（委員 6 人）

小委員会とし事業評価及び中期経営計画策定の検討を行った。

開催日 8月9日(水)、8月23日(水)、1月24日(水)

ウ. 広報委員会（委員 8 人） 未開催

エ. 平塚市地域福祉推進懇話会（委員 11 人） 開催日 8月3日(木)

オ. 苦情解決第三者委員会（委員 3 人） 未開催

(6)部会活動推進事業

ア. 社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成した。

5 部会 合計 420,000 円

内訳：地区社協部会 60,000 円 自治会部会 18,000 円

民生委員部会 54,000 円 保護司部会 27,000 円

福祉施設部会 261,000 円（運営費 81,000 円＋職員研修費補助 180,000 円）

イ. 神奈川県社協の委託事業として「地域ネットワーク強化事業」を実施した。

開催日 2月27日(火)

場所 サンライフガーデン4階 芙蓉の間

参加者 16 法人 26 人

内容 災害時の法人間の連携に向けた情報交換

(7)基金管理事業

ア. 平塚市社会福祉基金

・受入件数及び受入額

社会福祉基金設置以後の累積受入件数及び受入額については下表のとおり

区分	昭和 56 年度～前年度		当年度		受入額	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
市拠出金	8	400,000,000	—	0	8	400,000,000
寄付金	9,567	633,781,964	65	2,062,445	9,632	635,844,409
合計	9,575	1,033,781,964	65	2,062,445	9,640	1,035,844,409

※受入額のうち 60,033,310 円は小泉基金

・社会福祉基金の造成と運用

平成 27 年度からは、受け入れた寄付金を直接事業費に充てている。なお引き続き
国債、地方債等で運用している。 参考資料：「社会福祉基金事業一覧表」

前年度末 809,924,352 円

増減 150,384,332 円（有価証券取得、貸付返済、事業費取崩）

当年度末残高 960,308,684 円

(8)小泉基金管理事業

故小泉由治郎福祉活動基金（小泉基金）

平成12年度に故小泉由治郎氏より受け入れた寄付金（60,033,310円）については、事業準備積立金となっていたが、平塚市社会福祉基金管理委員会の決定を受け、社会福祉基金内に別基金として設置した。この基金は、次世代を担う青少年の福祉ボランティア意識の啓発を行うことを目的とした事業（ボランティア啓発育成事業）及び福祉の学びの場づくりの事業に活用する。

※事業の実績は、「Ⅲ－２－（４）小泉基金福祉活動助成事業」に掲載。

小泉基金残高	前年度末	47,685,141 円
	増減	1,584,624 円（事業費取崩）
	当年度末残高	46,100,517 円

(9)遺児等基金管理事業

ア．交通遺児等福祉基金

交通遺児等の援護のために受け入れた寄付金については、基金に積立を行い、地方債で運用している。

区 分	件数	寄付金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	2	257,000	64,189,958

イ．善意の寄付金

寄付者の目的に沿うよう該当する事業の寄付金収益としている。

区 分	件数	寄付金額(円)
福祉会館事業へ	1	30,000
車両寄贈指定寄付	1	8,600,000
その他	1	200,000
合 計	3	8,830,000

(10)一般事業配分金事業

ア．神奈川県共同募金会平塚市支会の運営

共同募金事業への協力のため支会事務局を担い、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

- ・ 常任委員会（定数15人）
開催日 4月17日(月)、7月18日(火)、3月8日(金)（書面開催）
- ・ 支会委員会（23地区の地区社協会長、自治会連絡協議会長、民児協会長ほか）
開催日 8月8日(火)
- ・ 支会監事監査（監事2人）
開催日 5月26日（金）

イ．募金実績

種別	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率
赤い羽根募金	19,000,000	18,086,617	95.19%
年末たすけあい募金	16,500,000	16,026,169	97.12%
合 計	35,500,000	34,112,786	96.09%

ウ．神奈川県福祉作文コンクール

県内の小・中学校合わせて154校4,928編の作品が寄せられ、平塚市から3編が入選した。平塚市応募総数84編（内訳 小学生 5校 9編 中学生 4校 75編）

- ・小学生の部
最優秀賞 富士見小学校 6 年 内田 陽太 『おじいちゃんの笑顔』
優秀賞 吉沢小学校 2 年 金子 心音 『やさしい大すきな大ばあば』
- ・中学生の部
最優秀賞 県立平塚中等教育学校 2 年 工藤 美岬 『きょうだい児』

エ. 災害義援金

個人や団体からお預かりした義援金を併せ、該当の県共同募金会へ送金した。

- ・令和 5 年度台風 2 号災害義援金 10,000 円
- ・令和 5 年 6・7 月大雨災害義援金 466 円
- ・令和 6 年能登半島地震災害義援金 369,195 円

オ. 一般事業配分金

社会福祉協議会として共同募金会から配分を受け事業を実施した

(11) 年末たすけあい配分金事業

参考資料参照：別表 2 「年末たすけあい配分事業一覧表」

Ⅱ. 老人福祉センター拠点区分

1. 老人福祉センター事業

(1) 老人福祉センターの運営

ア. 福寿カード発行数（新規159件、更新102件、再発行8件）

- ・市内の福祉会館共通の福寿カードを発行した。

イ. 老人福祉センター等の利用状況

人数は延べ、（ ）はうち数

開館 日数	個人利用（人）			団体利用（人）		合計 （人）
	人数	入浴 利用人数	機能回復訓練室 及び教養室	利用団体数	人数	
296 日	19,814	(10,726)	(1,614)	(112)	2,316	22,130

ウ. 健康相談 看護師を配置し、血圧測定等を実施 6,421 人

エ. 指定管理事業

(ア) 囲碁ボール体験・モルック体験

囲碁ボール 24 回 410 人、モルック 11 回 124 人

(イ) 健康体操、輪踊り

10 時頃とお昼休み後に利用者向けに健康体操と輪踊りを実施。

健康体操 4,607 人 輪踊り 894 人

(ウ) 看護師のミニ講座 4 回 参加者 38 人

4 月 17 日（月） 6 人 脳トレ「しりとりゲーム」

7 月 13 日（木） 9 人 「風船バレー」

10 月 25 日（水） 10 人 「つかまりスクワット」

1 月 25 日（木） 13 人 「ふうせんバレー」

(エ) 身体測定実施

5月 3日間 77人、9月 3日間 64人、12月 2日間 55人、
3月 2日間 29人

(オ) 季節の行事

菖蒲湯 5月 6日(土) 26人、柚子湯 12月 22日(金) 43人

菖蒲湯などの他に七夕の短冊づくりやハロウィン、クリスマス、お正月、ひな祭り
など季節の飾りつけを行った。

Ⅲ. 福祉会館拠点区分

1. 小地域福祉活動支援事業

(1) 小地域福祉活動支援事業

ア. 地区担当制

地区担当職員が地域主催事業や会議に参加し、地域課題の情報収集を行った。

- ・参加回数 79回
- ・地区懇談会 港地区 1回 [前年度1回]

イ. コミュニティ・ソーシャル・ワーカー活動 (CSW)

制度の狭間のケースや複数の福祉課題を抱えながらも既存の福祉制度やサービスにつ
ながっていないケースについて、地域や様々な関係機関、行政などと連携し、制度やサ
ービス、地域の社会資源につなぐ活動をした。今年度はウクライナ避難民支援として、
福祉用具事業所と連携し、介護用ベッドの無料提供も行った。

(ア) 個別支援

新規相談件数 165件

相談対応回数(電話、来所、訪問、メール等) 565回

(イ) カンファレンス、個別ケース会議への参加 51回

(ウ) 地域支援 36回

(エ) 広報啓発

- ・居宅介護支援連絡会地域包括支援センター合同研修会

「CSWの取組」10月25日(水)

- ・崇善地区合同研修会

「学校と地域～子どもたちの抱える課題～」

「地域のひとりぼっちをつくらない～CSWが行う支援～」11月23日(木)

- ・松原地区社協理事研修会

「CSW誕生の背景と具体的活動について」12月9日(土)

- ・茨城県ひたちなか市連合民生委員児童委員協議会視察研修

「CSW事業についての概要説明」2月29日(木)

(オ) 相談業務連絡会

相談業務に関わる部署の連携を強化し、相談体制を構築させる目的で2か月に1回、開催した。 定期開催 5回

・重層的支援体制事業を学ぶ(職員研修・再掲)

重層的支援体制整備事業を学び、多機関協働により支援の方向性をつかむ事例を通して互いの所属機関の機能を知り、連携をはかる

10月27日(金) 10月31日(火) 開催 計59人参加

(カ) 職員のスキルアップ研修(CSW業務) 7回

ウ. ふらっとカフェ(自主事業)

将来の不安や日ごろの悩みを話したり、ゲーム、読書、ちょっとした作業のお手伝いを通じて社会参加のきっかけを提供する場としてふらっとカフェを開設。必要に応じ、くらしサポート相談にて継続相談も行っている。

・福祉会館 第2、4水曜日の午後 開催24回 延べ参加者43人

・地域介護サービスセンター ラポール平塚(四之宮地区) 第3水曜日の午後
開催11回 延べ参加者17人

エ. 平塚市地域共生フォーラム

「地域で支える子ども・子育て支援～地域共生社会を目指して～」

12月16日(土) 平塚市中央公民館 小ホール

参加者 81人

講演 米田佐知子氏

活動発表 ①金田地区どんぐり・子どもの居場所金田の寺子屋

②なでしこ放課後みんなの食堂

③横内サンサンカフェ

(2) 社明運動助成事業

青少年健全育成(年末募金配分)

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

(3) 在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への補助(年末募金配分)

横内プロジェクト 150,000円

カベラ日本語の会 100,000円

湘南JRC 100,000円

(4) 地区社協活動支援事業

ア. 地区社協部会 役員会及び会長連絡会議

(ア) 役員会(3回)

開催日 6月8日(木) 会計監査含む、12月5日(火)、3月8日(金)

(イ) 会長連絡会議(3回)

開催日 6月29日(木)、12月26日(火)、3月22日(金)

(ウ) 検討会(1回)

災害時における平塚市社協(災害ボランティアセンター)と地区社協との連携に係る検討会 11月10日(金)

- ・検討会の開催状況について
- ・災害時の市社協と地区社協の協力体制について

イ. 地区社協活動支援事業

(ア) 地区社協活動支援補助事業

地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

社会福祉基金	地区社協活動推進事業(23 地区)	2,239,967 円	4,042,897 円
	自治会加入加算	90,000 円	
	高齢者等サロン開催費(17 地区)	1,022,930 円	
	地区ふれあい福祉相談事業費(23 地区)	690,000 円	
小泉基金福祉活動助成事業	福祉の学びの場 (23 地区実施)		1,102,206 円
共同募金 赤い羽根募金	地区社協活動事業費(23 地区)	1,593,548 円	2,722,537 円
	協力者育成事業費(23 地区)	1,128,989 円	
共同募金 年末募金配分	地区ふれあい広場助成(23 地区)	1,656,000 円	1,902,970 円
	サロン事業実績地区助成(10 地区)	246,970 円	
	小計		9,770,610 円
賛助会費還元金	賛助会費の 75%を団体活動費助成金として 23 地区社協に還元		13,103,957 円
	合計		22,874,567 円

(イ) 地区社協活動育成支援事業

a. 研修事業

- ・地区社協部会ブロック別研修会

2月4日(日)災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加

午前の部 第1ブロック・第2ブロック 12 地区 22 人

午後の部 第3ブロック・第4ブロック 10 地区 25 人

- ・平塚市地域共生フォーラムに参加

12月16日(土) 4地区から6人参加

b. 視察受入れ等支援事業

海老名市中新田小学校区ふれあい推進委員会視察研修

10月24日(火)

参加者 海老名市中新田小学校区ふれあい推進委員会 15 人

平塚市真土地区社会福祉協議会 4 人

平塚市四之宮地区社会福祉協議会 2 人

(5) 民児協支援事業

住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を促進する目的で助成を行った。

- ・実態把握活動費(年末募金配分) 2,768,000 円

(6) 団体支援事業

ア. 平塚市自治会連絡協議会(年末募金配分)

共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成。 700,000 円

イ. その他福祉関係団体へ活動費の補助を行った。(年末募金配分)

高齢者福祉 老人クラブ連合会事業費補助 90,000 円

母子福祉 母子福祉なでしこ会事業費補助 36,000 円

障がい児者福祉等 福祉当事者団体事業費補助 13 団体 468,000 円

平塚市障がい者団体連合会	36,000 円	平塚市肢体障害者福祉協会	36,000 円
平塚市肢体不自由児者父母の会	36,000 円	平塚市視覚障害者協会	36,000 円
平塚市聴覚障害者協会	36,000 円	平塚市手をつなぐ育成会	36,000 円
平塚地区自閉症児・者親の会 平塚やまびこ会	36,000 円	平塚市腎友会	36,000 円
湘南あゆみ会	36,000 円	平塚市地域作業所連絡会	36,000 円
平塚市介護の会はまゆう	36,000 円	すばる	36,000 円
あおぞら里親会	36,000 円		

ウ. 団体記念事業補助金交付（赤い羽根募金配分） 150,000 円
平塚市障がい者団体連合会、平塚市肢体障害者福祉協会、平塚市視覚障害者協会

(7) 地域活動支援センター等補助事業

ア. 地域活動支援センター等利用者活動促進事業（社会福祉基金） 805,900 円
特非）寿福会 サチラス
特非）あたたか会 シグナルひらつか
特非）山晃中央園 山晃中央園作業所
特非）平塚4Hの会 コミュニティハウス かざくるま

イ. 地域活動支援センター等事業助成（年末募金配分） 1,394,648 円

(ア) 地域活動支援センターへの配分

(1 か所：上限 100,000 円) 14 か所 922,943 円

(イ) グループホーム、ケアホームへの配分

(1 か所：上限 60,000 円) 6 か所 208,240 円

(ウ) 放課後等デイサービスへの配分

(1 か所：上限 35,000 円) 8 か所 263,465 円

(エ) EEJA 株式会社から福祉向上のため車両寄贈を受け福祉施設へ配分

2 施設 社会福祉法人 貴峯 4,300,000 円

社会福祉法人 つちや社会福祉会 4,300,000 円

(8) 子育て支援育成事業

ア. 子育て支援事業等補助金交付事業

平塚市内で子育て支援を行っている団体等、また、これから行おうとする団体等に対し、地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。（赤い羽根募金配分事業）

また、前年度に感染対策の上、サロンを開催した団体に対し、年間の実施回数 1 回～9 回は 5,000 円、10 回以上は 10,000 円を加算した。

				2 1 団体	705,000 円
補助額	5,000 円	10,000 円	15,000 円	20,000 円	25,000 円
団体数	0	2	1	4	2
補助額	35,000 円	40,000 円	45,000 円	50,000 円	60,000 円
団体数	2	5	0	3	2

内 訳 ※下記は補助上限額

新規活動団体 (1 団体 15,000 円) 0 団体

廃止団体 0 団体

・ 1 回の子ども平均参加人数別

12 人未満	(1 団体 10,000 円)	16 団体
13～24 人	(1 団体 20,000 円)	4 団体
25 人以上	(1 団体 30,000 円)	1 団体

※コロナ禍で前年度の平均参加人数が減少しているため、引続き平均参加人数の基準を半数とした。

・ 年間事業実施回数別

10 回未満	(1 団体 10,000 円)	9 団体
10～19 回	(1 団体 20,000 円)	8 団体
20 回以上	(1 団体 30,000 円)	4 団体

・ 感染対策補助

1 ～ 9 回	(1 団体 5,000 円)	9 団体
10 回以上	(1 団体 10,000 円)	12 団体

イ. 子育て支援者交流会

開催日 2 月 25 日(日)

内 容 子育て応援団体！交流会

(ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク共同)

・ 講演「子どもの体と心」きりんカームクリニック院長 尾崎裕彦氏

・ 参加者同士の交流会

・ 平塚すくすく育ち隊（子育て支援ホームページ）のチラシ

参加者 83 人（うち「子育て応援団体冊子」掲載の団体 8 地区・9 団体）

ひらつか子ども・子育てネットワーク・支援者・保護者・子ども

・ 子育て応援団体冊子の作成と配布 2,000 部

今年度から希望冊数が多かった配布先には、ペーパーレス化も含め冊子ではなく手軽に「子育て応援団体冊子」が見られるようにホームページの二次元コードチラシを配布した。

ウ. ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク事業（社会福祉基金事業）

子育て支援に関わるネットワークづくりを進めることを目的として、行政や子育て支援者等とネットワークづくりに向けての会議を開催した。

(ア) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会（2 回）

行政、民間の委員を置き、当ネットワークのあり方や進め方などについて意見や提言を行った。

(イ) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク部会（6 回）

子ども・子育て支援ネットワークの活動を具体的に推進し、推進委員会、各プロジェクト、交流会等の調整を行い、取り組み状況等を推進委員会に報告した。

(ウ) 子ども・子育て支援ネットワーク 各プロジェクト

a. 情報発信プロジェクト（5 回）

子育て世帯や子育て支援者に有益な情報をホームページ等にて適宜提供できるようにするための検討を行い、ホームページを作成した。

b. 交流会プロジェクト（11 回）

市域での交流会の開催に向けて「プロジェクトメンバー交流会」を 7 月 14 日（金）、「子育て交流会」令和 6 年 2 月 25 日（日）開催した。

c. 学習・食堂プロジェクト（8回）

周知及び協力者等を増やすため、関係者向けのつどいを開催し、またボランティア養成講座へ協力した。

d. アンケートプロジェクト（9回）

子育て中の保護者や支援者、企業や行政等から、必要な支援や子育てに関する要望等のアンケートを7月7日から実施。PRのため、七夕まつりに参加しアンケート二次元コードを貼付けした飾りを作成した。アンケート結果を資料として市へ提出した。

2. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

ア. ボランティアセンターの運営

開所日数 243 日

ボランティアセンター運営委員会（定数 11 人・2 回）

8月1日(火)、3月29日(金)

イ. ボランティアの相談斡旋

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアのニーズ調整を行った。〔 〕は前年度の実績

相談件数	595 件	〔507 件〕
派遣件数	390 件	〔295 件〕
派遣延べ人数	1,149 人	〔842 人〕
ボランティア登録人数		
個人	123 人	〔165 人〕
団体	89 団体 1,489 人	〔98 団体 1,590 人〕
登録人数	1,612 人	〔1,755 人〕

ウ. 調査・研究事業

ICTを活用した災害ボランティアセンターの受付や募集、運営方法等を他県の事例を参考に検証した。

災害ボランティア登録者へ二次元コードを送付し、設置運営訓練の申し込みを事前に行う取組や二次元コードを活用した災害ボランティアセンターの運営を実施。災害ボランティア登録と受け入れ態勢の効率化を進めた。

エ. 広報啓発事業

- ・全国社会福祉協議会発行の冊子「ボランティア情報」を購入し、センター内で配架、地区社協へ配付をした。年12回
- ・「ボランティア活動ガイド」を配付した。10冊
- ・FM湘南ナパサ、民間情報誌へボランティア講座の案内等の情報提供を行った。またSNSなどでボランティア募集を呼びかけた。
- ・ボランティアセンターのブログを通じ、学校で行っている福祉学習の実施状況、ボランティア講座の案内及び報告、ボランティア団体の紹介等を行った。
- ・ボランティアセンターの掲示板を活用し、ボランティア募集情報やボランティア講座のお知らせ、福祉学習を実施した小・中学校の児童・生徒からの感想文等を掲示した。

・ビデオライブラリーの整備

保有数 117 巻（うちDVD 22 巻）

貸出 0 件

(2) ボランティア育成事業

ア. 福祉ボランティアスクール

市民を対象に社会福祉の意識啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的として開催。平塚ボランティア連絡会の協力を得て実施した。

開催日 10月4日～11月15日 毎週水曜日 全6回

- 内 容 ①「傾聴を体験してみよう」（神奈川県傾聴赤十字奉仕団）
②「聴覚障がいと要約筆記を学ぼう」（要約筆記サークル）
③「視覚障がいの誘導を学ぼう」（平塚点訳赤十字奉仕団）
④「視覚障がい者の理解をして点字を学ぼう」（平塚点訳赤十字奉仕団）
⑤「聴覚障がい者の理解をして手話を学ぼう」（平塚市聴覚障害者協会）
⑥「ボランティアの心得」（本会職員）

「平塚ボランティア連絡会加盟ボランティアグループ、ボランティア活動の紹介」

受講者 11人 延べ42人

イ. 保育ボランティア初心者講座

保育ボランティアを養成する講座として、ボランティアに必要な基礎知識を習得することを目的に開催した。保育ボランティアとして安心して乳幼児と関わるができる内容とし、講座終了後はボランティア活動につながるなど成果が得られた。

開催日 5月31日(水)、6月7日(水)、14日(水) 全3回

- 内 容 ①「ボランティアの心得」（本会職員）
「乳幼児の特性とコミュニケーションの方法について」
（平塚市こども発達支援室くれよん 保育士）
②「子どもに起きやすい事故の予防・ケガの対応について」
（平塚市健康課 保健師）
③「子どもの遊び・すぐにできる手遊び」
（平塚市子育て支援センター職員）
「保育ボランティアの体験談」

受講者 12人 延べ 29人

ウ. 親子で福祉体験こどもスクール

夏休み期間を利用して様々な福祉体験を通し、高齢者・障がい者への理解と関心を深め、親子での参加を呼びかけ、親子で「福祉」について考えるきっかけづくりを目的として開催。

開催日 ①7月27日(木)、②7月28日(金)

- 内 容 ①点字体験 （平塚点訳赤十字奉仕団）
②手話体験 （平塚市聴覚障害者協会、平塚手話サークル七夕会）

受講者 19人 延べ 29人（親子7組）

エ. ボランティア養成講座（知的障がい児編）

知的障がい児への接し方やコミュニケーション方法等について学び、知的障がい児へのボランティア活動に繋げることを目的に開催した。

開催日 9月4日(月)、11日(月)、25日(月) 10月2日(月) 全4回

- 内 容 ①知的障がい児の特徴について（サンシティひらつか）
②自閉症について（れいんまん・広め隊）

- ③平塚市手をつなぐ育成会の活動（平塚市手をつなぐ育成会）
- ④きょうだい児について（平塚きょうだい児支援の会ワッフル）

受講者 13人 延べ 44人

オ. サロンボランティア向け講座

サロンボランティア向け講座（地区社協・福祉村対象）

地区でサロンや給食会、ミニデイサービス他、各種開催されている、ボランティアセンターに登録している地区ボランティアグループを対象に、身近にできる健康づくりや地域で活用できるレクリエーション手法を学んでいただきそれぞれの地域で活用できることを目的として開催した。

開催日 11月27日(月)

会場 勤労会館 3階大会議室

内容 「レクリエーションについて」（本会職員）

「地域で活用できる様々なレクリエーションについて」

受講者 48人（地区社協、町内福祉村、地区ボランティアグループ）

カ. ボランティアのつどい

ボランティアセンターに登録する全てのボランティアが一堂に会し、情報交換や交流をする場として開催した。

開催日 1月20日(土)

会場 中央公民館 4階小ホール

内容 演芸ボランティア発表「湘南ひらつかマジシャンズ」（3人）

第46回神奈川県福祉作文受賞作品朗読

朗読者 平塚市立吉沢小学校 2年生 金子 心音さん

平塚市立富士見小学校 6年生 内田 陽太さん

情報交換「ボランティア活動をしてよかったこと」及び交流会

参加数 73人

キ. 福祉学習指導者養成講座

市内小・中学校等で行われる福祉学習において、車いす体験や高齢者疑似体験の指導者となる方を養成した。市内在住で福祉施設で実務経験があり、介護の資格を有している方を対象として募集した。

開催日 3月18日(月)

講師 本会職員

受講者 2人 修了後2人登録

ク. ボランティア養成講座（片付け・収穫）

住人が抱える課題を理解し寄り添った支援の方法を考えていくきっかけとし講座を開催した。

開催日 3月14日(木)

講師 湘南精神保健福祉士事務所 所長 長見 英知氏

内容 寄り添いの支援を学ぶ

受講者 11人

ケ. こども食堂・学習支援講座

子ども食堂や学習支援団体を立ち上げたい人や協力したい人の参加に加え、取り組み内容や課題等を広く市民等に理解していただくことを目的として開催した。子ども・子育て支援ネットワークの学習支援・子ども食堂プロジェクトチームの協力を得て実施し、1月11日(土)に開催された「学習支援・子ども食堂のつどい」につなげた。

開催日 10月27日(金)
 内 容 平塚の子ども食堂・学習支援マップについて【学習・食堂の必要性】
 (金田の寺子屋 井上勝博氏)
 学習支援について(学習支援中原教室 磯部博之氏)
 子ども食堂について(こひつじ食堂 平野健治氏)
 学習・食堂両方支援について(キッチンひばり野 高橋亜依子氏)
 受講者 29人

コ. 専門ボランティア養成講座(社会福祉基金事業)

ボランティアグループが専門性の高い内容の講習を行うことで、福祉を理解し実際の活動のきっかけとなることを目的とした。講座終了後は主催団体へ入会するなど専門ボランティアのすそ野を広げることができた。

(ア) 初心者向けボランティア養成講座を7団体で9講座を開催した。

助成額 334,000 円

主催	講座	開催回数	参加者	延べ人数	助成額
平塚点訳 赤十字奉仕団	点訳 基礎講習会	5回	7人	28人	104,000 円
	拡大 図書講習会	4回	1人	4人	
手話サークル 七夕会	初心者 手話講習会	5回	17人	67人	38,000 円
	初心者 手話講習会	5回	19人	78人	
手話サークル 平の会	初心者入門 手話講習会	8回	23人	146人	38,000 円
要約筆記サー クルひらつか	手書き要約筆記入 門講習会	6回	3人	6人	48,000 円
平塚音訳 赤十字奉仕団	録音図書作成のための 音訳初級講習会	5回	1人	3人	38,000 円
神奈川県傾聴 赤十字奉仕団	傾聴ボランティア 養成講座	3回	36人	89人	30,000 円
精神保健福祉ボラ ンティアグループ こんべいとう	精神保健福祉ボラ ンティア養成講座	3回	17人	44人	38,000 円

サ. 福祉学習、研修事業

高齢者や障がい者等への接し方を学び、福祉の心を育むため、小・中・高等学校、地区社協、地域ボランティアグループなどにボランティア活動や体験学習(車いす操作方法体験、高齢者疑似体験、点字体験、誘導法体験、手話体験、盲導犬への理解、視覚障がい者の講話、車いすバスケット体験、認知症サポーター養成講座、災害学習等)の講師等として協力した。

体験学習実施	学校数	人数	講師人数
小学校(対象数28校)	20校	4,048人	191人
中学校(中等教育学校も含む)(対象数16校)	8校	1,485人	101人
高等学校・特別支援校	3校	1,221人	14人
平塚市・専門学校・地域等(出張ボランティアスクール)	11件	659人	24人
合 計	42件	7,413人	330人

(ア) 福祉学習担当者説明会

市内小、中、高等学校、特別支援学校の福祉学習担当教員を対象に福祉学習の説明会を開催した。

開催日 6月23日(金)、7月21日(金)

参加者 17校

シ. 点訳、音訳奉仕団助成事業 (社会福祉基金事業)

平塚点訳赤十字奉仕団 助成額 85,000 円

平塚音訳赤十字奉仕団 助成額 10,000 円

ス. 視覚障がい者支援 音訳ライブラリー整備事業 (社会福祉基金事業他)

70,000 円

セ. ボランティア保険の取扱い

ボランティア活動保険 個人 49件 49人 (うち被災地支援4件4人)

団体 97件 1,739人 (うち被災地支援1件5人)

ボランティア行事用保険 113件 30,030人

送迎サービス補償 4件 (個人0件 団体4件)

福祉サービス総合補償 3件

(3) ボランティアグループ助成事業

ア. ボランティアグループ活動助成 (社会福祉基金事業)

当年度実績 [前年度実績]

37グループ (市域16・地域21) 40グループ (市域19・地域21)

助成額 1,850,680 円 1,868,900 円

イ. 平塚ボランティア連絡会へ助成 (社会福祉基金事業) 助成額 170,000 円

ウ. ボランティアグループ等活動補助金説明会

開催日 5月10日(水) 午前・午後の2回開催

参加者 30人

(4) 小泉基金福祉活動助成事業

ア. ボランティア啓発育成 (小泉基金事業)

助成学校数 合計15校

内訳: 小学校8・中学校(中等教育学校含む)4・高等学校2・特別支援学校1

助成額 600,690 円 [前年度 632,319 円]

助成内訳

①学校・学年単位の助成 13件 335,000 円

②テーマ・企画に対する助成 3件 107,500 円

③学校と地域の連携事業助成 3件 158,190 円

イ. 福祉の学びの場 1,102,206 円

実施地区社協 23地区 再掲

ウ. 教材購入費 4,734 円

ア～ウ合計 1,707,630 円

(5)災害時ボランティア事業

ア. 災害支援に関わる事業

(ア) ボランティア養成講座（災害時編）

災害ボランティアとして必要な知識を学び災害発生時に活躍できる方、災害ボランティアセンターにて活動出来る方の養成を目指し開催した。

開催日 12月2日(土)

参加者 2人

(イ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

関係団体、登録ボランティアを集めて設置運営訓練を行った。

内 容 災害ボランティアセンター設置運営訓練

開催日 2月4日(日) 午前・午後の2回開催

参加者 113人(関係団体42人、地区社協部会47人、登録ボランティア24人)
〔前年度62人〕

(ウ) 外部への参加、協力

・平塚市総合防災訓練への参加

開催日 8月19日(土)

会 場 平塚市総合公園平塚はらっぱ周辺

内 容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発、車いすでの搬送体験

・第13回ひらつか祭への参加

開催日 3月10日(日)

会 場 紅谷パールロード、まちかど広場周辺

内 容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発、車いすでの搬送体験

・他団体の訓練、フォーラム等へ参加

防災ネットワークの推進に向けた防災座談会(ひらつか市民活動支援センター主催)

開催日 9月30日(土)

会 場 ひらつか市民活動センター

平塚市自主防災組織研修会(平塚市主催)

災害時に平塚市社協と地区社協との連携について

開催日 5月20日(土)

会 場 平塚市教育会館 3階

(6)自主事業

ア. 企業、団体、個人の方から物品の寄付を受け、必要な施設等に配布した。

・寄付者

個人24件 企業3件 行政1件 NPO法人1件 その他1件

寄付者	寄付物品
(株)湘南ネットワーク	紙オムツ、尿取りパット
新日本プロレス	オフィシャルグッズ
大和ハウス工業(株)湘南支店	カレンダー等
高齢福祉課	レッグウォーマー、ひざ掛け
未来経験往路プロジェクト(NPO)	アルコール消毒
日本キリスト教会湘南教会	車いす
個人 24件	紙オムツ、尿取りパット、タオル、ベビーベッド等

・主な配分先

子ども食堂、学習支援団体、平塚市社会福祉協議会福祉施設部会、公立保育園、平塚市在宅医療・介護連携支援センター

イ. 車いすの貸出

平塚市在住の方へ介護保険や障害者手帳の申請期間のつなぎ、病院の一時的な通院などのために車いすの貸出を行った。

保有台数		20 台
貸出件数	延べ	108 件
貸出日数	延べ	2,213 日
利用料金	合計	36,500 円

ウ. 啓発パネル・DVDの貸出し

地域福祉の推進を図るため、啓発用のパネルやDVDの貸出しを行った。

啓発パネル	1 件	〔前年度実績 1 件〕
DVD	6 件	〔前年度実績 6 件〕

(7)障がい児等移送サービス事業

ボランティアの協力による障がい児等移送サービス事業（社会福祉基金）

平塚市障がい者自立支援協議会において検討された何らかの理由で通学が困難な障がい児を対象に運転ボランティアの協力による特別支援学校等への登下校の移送サービスを実施した。車両は、平塚市から譲渡された「ふくふく号」を使用した。

利用者	4 人	（平塚支援学校 2 人、湘南支援学校 2 人）
延べ利用回数	590 回	運転ボランティア 5 人に対応

3. 援護事業

(1)生計困難世帯援護事業

ア. 要援護世帯等の慰問金

夏期と年末に生計困難世帯に対して慰問金を贈呈した。

夏期慰問金（社会福祉基金）	金額	件数	計
1 人世帯	5,000 円	41 世帯	205,000 円
2 人以上世帯	10,000 円	337 世帯	3,370,000 円
合 計		378 世帯	3,575,000 円
年末慰問金（年末募金配分）	金額	件数	計
1 人世帯	5,000 円	39 世帯	195,000 円
2 人以上世帯	10,000 円	368 世帯	3,680,000 円
合 計		407 世帯	3,875,000 円

イ. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助、中学校卒業祝金（社会福祉基金）

生計困難世帯の小・中学校入学児童・生徒へ祝金と学生服の購入補助をした。なお、前年度に続き感染症の影響を考慮し祝金を 10,000 円増額した。

区分	祝金	被服購入費助成	人数	計
小学校入学	20,000 円	10,000 円	21 人	630,000 円
中学校入学	20,000 円	20,000 円	40 人	1,600,000 円
中学校卒業	20,000 円		50 人	1,000,000 円
合計			111 人	3,230,000 円

ウ. 修学旅行等支度費補助（年末募金配分）

生計困難世帯の支援を目的として、小学 6 年生と中学 3 年生の修学旅行等支度費の一部を次のとおり助成した。

区分	支度費	人数	計
小学6年生	5,000 円	25 人	125,000 円
中学3年生	10,000 円	36 人	360,000 円
合計		61 人	485,000 円

(2) 激励金見舞金支給事業

ア. 遺児等援護事業

(ア) 交通遺児等激励金（交通遺児等福祉基金）

交通事故のため保護者が死去、または重度障害を負った世帯の18歳以下の子に対し、激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児等に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	3世帯 4人	60,000 円

(イ) 一般遺児激励金（年末募金配分）

病死等で保護者が死去した世帯の18歳以下の子に対し、激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	51世帯 71人	1,065,000 円

(3) 寝たきり高齢者等慰問事業（社会福祉基金）

在宅の寝たきり高齢者（要介護度4・5）及び、身体障害1・2級で在宅生活されている方対象に尿とりパッド・ウェットティッシュのセットを支給した。

年2回（8月 120人、2月 108人） 計228人

(4) 障がい児者支援事業

ア. 障がい児と保護者の慰安激励と交流を目的とし、「お楽しみ交流会 in 平塚海岸 平塚の魚をつかまよう！」をひとり親世帯支援事業と合わせて開催した。（赤い羽根募金配分事業）

順延日も含め天候不良のため中止

イ. 福祉事業所合同説明会・見学会実行委員会の「福祉事業所一覧」発行費用として助成した。（赤い羽根募金配分） 80,000 円

ウ. 視覚障がい者向けスマートフォン講座

視覚障がい者が ICT 化に取り残されていることを防ぐとともに、スマートフォンの操作を習得することで生活の質の向上を図ることを目的とし開催した。

開催日 ①11月29日(水)、②12月6日(水)

講師 株式会社 NTT ドコモ ドコモ・ハーティ講座事務局

内容 ①iPhone の基礎操作 ②便利機能体験

受講者 ①10人、②13人

エ. 中途失明者対象点字講座

中途失明者を対象に点字の習得を提供する講座を開催。希望者は、講座終了後、平塚点訳赤十字奉仕団が対応して点字の習得を目指す。

開催日 2月7日、14日、21日、28日 毎週水曜日

講師 平塚点訳赤十字奉仕団

受講者 1人

(5)点字図書購入費助成事業

ア. 点字図書購入費助成（社会福祉基金事業）

視覚障がい者（1・2級）に点字図書購入費の一部を助成した。 2件 23,000円

イ. 録音・点字図書等の貸出事業

視覚障がい者の教養娯楽に供するため、点訳・音訳赤十字奉仕団の協力により各種録音図書及び点字図書の作成をした。

- ・受入数 録音図書（デイジー・CD） 17タイトル 17枚
点字図書 15タイトル 47冊
- ・保有数 録音図書（デイジー・CD） 316タイトル 324巻
点字図書 425タイトル 1,636冊

※デイジーの貸出については、視覚障がい児者に限る。

・貸出状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出巻数
録音 CD デイジー	定期刊行物	943人	943巻 (内訳:声の広報 625、議会だより 64、ラジオ深夜便 254、しおさい0)
	図書(デイジー)	16人	32巻
	合 計	959人	975巻
点字図書	定期刊行物 (てんぴつ)	172人	172巻
	図 書	44人	146巻
	合 計	216人	318巻

(6)ひとり親世帯支援事業

ひとり親世帯の慰安激励と交流を目的とし、「お楽しみ交流会 in 平塚海岸 平塚の魚をつかまよう!」を障がい児者世帯支援事業と合同で企画した。(赤い羽根募金配分事業)

順延日も含め天候不良のため中止

(7)子ども貧困対策支援事業

食糧支援及び子ども食堂、学習支援の活動団体への補助金事業を実施した。

- ・市域の活動団体 2件 200,000円
- ・地域の活動団体 7件 350,000円

4.子育て援助活動支援事業

(1)ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児の支援を受けたい人で行いたい人を会員として組織化。支援活動を通じ、安心とゆとりをもって子育てができる環境を作ることを目的として実施した。

ア. 実施施設 福祉会館（ファミリー・サポート・センター）

イ. 開設日 243日〔前年度 243日〕

ウ. 会員数

	当年度 会員証発行	前年度 会員証発行	会員数 年度末現在
延べ会員数	138 人	103 人	956 人
支援会員	15 人	16 人	257 人
依頼会員	123 人	89 人	671 人
うち、支援会員と 依頼会員の両方の会員	0 人	2 人	28 人

※上記「会員数」は、平成15年度からの累計数から退会者数を除いた人数。

※令和5年度は末子に小学校6年生がいる会員について児童退会の手続きを行った。会員整理退会 648 人、通常退会 12 人（依頼会員 6 人、支援会員 6 人）計 660 人が退会している

エ. 問合せ件数 延べ 4,082 件 〔前年度 2,868 件〕

オ. 事前、顔合せ件数 延べ 236 件 〔前年度 130 件〕

カ. 活動件数 延べ 3,475 件 〔前年度 2,280 件〕

キ. 活動内容

	当年度	前年度
保育所・幼稚園への送迎及び預かりにかかる支援	1,586 件	[718]
小学校、学童保育等への送迎及び預かりにかかる支援	431 件	[329]
子どもの習い事等の場合の援助	864 件	[747]
保育所・学校等休み時の援助	28 件	[29]
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中等の場合の援助	191 件	[76]
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	1 件	[2]
保護者等の外出する場合の援助	65 件	[200]
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	63 件	[53]
他の子どもの世話や用事のための場合の援助	114 件	[59]
保護者等と一緒に子どもの援助	55 件	[52]
家事を済ませるための援助	34 件	[12]
保護者等の休息時の援助	5 件	[3]
放課後デイサービス	38 件	
その他	0 件	[0]
合計	3,475 件	[2,280]

※「産褥期の援助」は支援できなくなったため支援項目変更

ク. 研修会等

(ア) 支援会員講習会

第1回 6月23日(金) 6人
 6月28日(水) 7人
 6月29日(木) 7人
 第2回 11月29日(水) 13人
 11月30日(木) 11人
 12月 1日(金) 13人

(イ) 支援会員フォローアップ研修会「救命講習」平塚市消防本部 職員

開催日 8月 1日(火)
 参 加 支援会員 4人

(ウ) 支援会員交流会

「おはなしおばさんによる絵本の読み聞かせ・手遊び」「みんなで子育て」

開催日 2月10日(土)

参加 支援会員 5人、依頼会員 12人(家族、子ども含む)

(エ) 支援会員募集説明

元気応援ポイント説明会に出席し、参加者へ支援会員について説明した。

2人の支援会員講習会の参加につながった。

IV. 平塚栗原ホーム介護拠点区分

1. 日常生活自立支援事業

(1) 事業内容

認知症や知的・精神障がい等により、金銭や書類等の管理が難しい状況にある高齢者や障がい者等の権利を守り、安心して生活を送れるようにすることを目的として支援した。

(2) 相談援助活動

	当年度	前年度
問い合わせ、相談件数	2,398件	2,616件
新規依頼相談(ケース相談)	227件	176件
日常生活自立支援事業に関するもの(日常支援)	2,022件	2,327件
その他(来所相談・関係機関等からの問い合わせ等)	149件	113件

(3) 契約件数

・実利用者数(年度末時点) 91人 [前年度末 93人]

内訳：新規契約 15人 [前年度 20人]

解約 17人 [前年度 18人] ※契約年度内解約4人

内訳	①福祉サービス利用援助 ・日常的な金銭管理サービス	②書類等 預かり	契約件数
高齢者(虚弱、認知症等)	44件 [39]	4件 [3]	48件 [42]
知的障がい者	15件 [17]	4件 [5]	19件 [22]
精神障がい者	38件 [41]	9件 [7]	47件 [48]
身体障がい者	11件 [10]	0件 [0]	11件 [10]
その他	0件 [0]	0件 [0]	0件 [0]
合計	108件 [107]	17件 [15]	125件 [122]

※〔 〕は、前年度実績 ※件数は個人を単位とし①②のサービスごとに契約数を計上している。

(4) 訪問活動

ア. 専門員等の訪問調査活動 延べ 116回

イ. 生活支援員の訪問及び活動 延べ 1,846回 (※専門員代行分含む)

(5)事務局内カンファレンス

ア. 開催件数 19件 (契約15件・契約に至らず4件)

イ. 審査内容

対象者 項 目		認 知 症 高齢者等	知 的 障がい者	精 神 障がい者	身 体 障がい者	その他 ・不明	合計
内 容	審査(契約・解約 ・支援計画等)	17件	1件	1件	0件	0件	19件
	相談・助言・その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件
合 計		17件	1件	1件	0件	0件	19件

2. 介護に関する入門的研修事業

(1)入門的研修

神奈川県社会福祉協議会より受託し、介護に関する知識の習得と介護分野への参入のきっかけを作ることを目的に研修を開催した。

ア. 基礎講座

内 容 「介護に関する基礎知識」「介護の基本」
開催日 12月13日(水)
講 師 平塚市地域包括支援センターふじみ 管理者
参加者 37名

イ. 入門講座

実施内容 「基本的な介護の方法」「障がいの理解」「認知症の理解」等
開催日 1月20日(土)、27日(土)、2月10日(土)、17日(土)
講 師 ひらつか地域介護システム会議所属事業所のスタッフ等
地域包括支援センターのスタッフ
参加者 22名(うち修了者19名)

3. 特定相談支援事業

(1)相談支援事業

ア. 障がい者等からの障がい福祉サービスなどの相談事業等を実施した。

・相談、調査件数

	当年度	前年度
電話相談	2,321件	2,694件
来所相談	19件	31件
ケアプラン作成訪問	415件	517件
サービス担当者会議	17件	34件
その他訪問	73件	144件
認定調査	16件	27件
合計	2,861件	3,447件

・計画作成件数

	当年度	前年度
平塚市	67 件	94 件
茅ヶ崎市	3 件	0 件
伊勢原市	0 件	0 件
横浜市中区	1 件	1 件
横浜市南区	0 件	1 件
秦野市	1 件	2 件
三浦市	1 件	1 件
長崎県五島市	1 件	2 件
合計	74 件	101 件

・モニタリング作成件数

	当年度	前年度
平塚市	255 件	258 件
茅ヶ崎市	4 件	8 件
秦野市	1 件	1 件
横浜市南区	4 件	3 件
伊勢原市	2 件	2 件
合計	266 件	272 件

(2)平塚市子育て世帯訪問支援事業(新規事業)

今年度からヤングケアラー等の支援ニーズの高い児童等がいる世帯に対し、訪問支援員が居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事または育児の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的に家事支援等を行った。

支援内容	家事援助等
利用者数	2 人
利用回数(延べ)	39 回
利用時間(延べ)	54 時間

4. 生活介護事業

障害者総合支援法の利用者のサービス等利用計画に基づいて生活介護事業を実施した。利用者に対し送迎、食事や入浴（一般浴・特浴）の提供、レクリエーションを実施した。

(1)利用実績

・利用登録者数

内訳	当年度	前年度
区分3	3 人	5 人
区分4	3 人	1 人
区分5	3 人	2 人
区分6	26 人	25 人
合計	35 人	33 人

・利用人数

	当年度	前年度
人数（延べ）	3,352 人	3,054 人
1 日平均	12.41 人	11.35 人
開所日数	270 日	269 日

(2)年間行事等

・季節の行事や創作活動を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	10 月	陶芸教室、ハロウィン
4 月	お花見散策、園芸活動、こいのぼり作り	11 月	秋のスポーツ大会、屋上散策
5 月	屋上ランチ、感謝カード作り	12 月	ミニクリスマス会、ハンドベル演奏、ゆず湯、クリスマス準備
6 月	園芸活動、七夕準備	1 月	成人式、絵馬作り、インスタ映えアルバム作り
7 月	屋上散策、七夕飾り・短冊作り、かき氷製作	2 月	節分豆まき、いちご狩り、避難訓練、お三方作り、壁画飾り作り
8 月	ミニ夏祭り、運動会準備	3 月	ひな祭り工作、避難訓練、壁画飾り作り
9 月	ミニ運動会、福祉展作品作り		

・福祉事業所説明会へ参加 相談件数 13 件

・展示即売会へ出品

6 月 29 日～6 月 30 日（2 日間） バラのリース、花かご飾り、ハーバリウム他

12 月 9 日～12 月 11 日（3 日間） くりのすけカレンダー、クリスマスリース他

(3)実習及びボランティアの受入れ

ア. 実習（職場体験）受入れ

受入日数 延べ 17 日

受入人数 延べ 49 人

・江陽中学校	1 日間	1 人
・県立平塚看護大学校	9 日間	34 人
・湘南平塚看護専門学校	7 日間	14 人

イ. ボランティアの受入れ

受入日数 延べ 247 日

受入人数 延べ 247 人

・一般	137 日間	137 人
・訪問マッサージ	60 日間	60 人
・パソコン	36 日間	36 人
・神奈川傾聴塾	14 日間	14 人

(4)平塚市養育支援訪問事業ヘルパー派遣事業

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めることが困難な状況にある家庭に、過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事援助等を行った。

	当年度	前年度
支援内容	家事援助等	家事援助等
利用者数	1 人	5 人
利用回数(延べ)	1 回	3 0 回
利用時間(延べ)	1 時間	3 0 . 5 時間

(5)自主ホームヘルパー派遣事業

介護保険制度や平塚市の保健福祉サービス、障がい者福祉サービスが利用できない方を対象に、個々に契約をして、ヘルパーの派遣を行い、家事援助等のサービスを提供した。

	当年度	前年度
支援内容	家事援助等	家事援助等
利用者数	6 人	8 人
費用区分（実数）	無料 0 人、有料 6 人	無料 0 人、有料 8 人
利用回数（延べ日数）	1 7 回	2 9 回
利用時間（延べ）	1 7 . 5 時間	4 1 . 5 時間

V. 豊田分庁舎拠点区分

1. 地域子育て支援拠点事業

(1) 子育て支援センター事業

子育て家庭の育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロン（交流の場）の運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域のニーズに応じて子育て支援関連機関との連携等により、育児支援を行った。

ア. 実施施設 豊田分庁舎（子育て支援センター）

イ. 開設日 242 日〔前年度 243 日〕

ウ. 利用状況

- ・利用総数 延べ 11,183 人（相談、視察等含む）〔前年度 8,207 人〕
- ・来所者 延べ 10,848 人（交流広場利用者数）〔前年度 7,876 人〕
- ・相談者数 延べ 1,877 人〔前年度 2,227 人〕
- ・育児相談延件数 延べ 2,118 件〔前年度 2,253 件〕
- ・育児相談の内容

分類項目	相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
a 基本的生活習慣 475 件	睡眠	148 件	食事	221 件
	排泄	52 件	着脱	11 件
	清潔	41 件	その他	2 件
b 発育・発達 445 件	運動	10 件	身体の発育	110 件
	言葉	96 件	社会性	84 件
	癖	19 件	問題行動	100 件
	その他	26 件		
c 育児方法 323 件	関わり方	231 件	教育	10 件
	健康	47 件	育児不安	29 件
	その他	6 件		
d 生活環境 875 件	友達	12 件	きょうだい	36 件
	家族	78 件	夫婦	71 件
	園・学校	505 件	母の体調	77 件
	その他	96 件		

- エ. 活動内容
- ・出向、訪問等での相談 0 件
 - ・相談以外の補完的援助 270 件
 - ・関係機関との連携・協力等 38 件
 - ・グループ支援 4 件
 - ・会議、研修、視察等の参加 12 件
 - ・わくわくタイム 8 回
 - ・スペシャルジョイフルタイム 10 回
 - ・わくわくデイ 4 回
 - ・おもちゃの病院 12 回
- ※福祉村の拠点を借りて開催

VI. くらしサポート拠点区分

1. 生活支援事業

(1) 行旅人旅費支給事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

・旅費困窮者救護金(30件×300円、2件×600円) 合計 20,200円

・平塚市民病院対応(1件×10,000円)

(2) 日用品等支給事業

やむを得ない事情で生活が困難な市民に日用品及び食料品等を一時的に支給する事業

・乳児の養育に必要なものとして、粉ミルク・紙おむつ・おしり拭きを準備していたが、該当者がいなかった。今後の支援のため、食品等を購入して備蓄した。

支給 0件

(3) 生活支援事業

さまざまな生活上の困りごとをかかえている方を対象に、関係機関と連携しワンストップの相談体制を整え、問題の解決を図れるよう情報提供や社会資源の紹介をするとともに、適切な相談機関につないだ。

生活支援相談(月曜日～金曜日)

延べ 175件

(4) 災害見舞金支給事業

火災や水害で罹災した世帯に見舞金を支給した。

	件数	県共募(たすけあい 福祉資金配分金)	市社協 (赤い羽根募金配分金)	合計
全焼(損)	6件	60,000円	60,000円	120,000円
半焼(損)	1件	5,000円	5,000円	10,000円
半壊	0件	0円	0円	0円
水損	2件		10,000円	10,000円
死亡	1件	10,000円	10,000円	20,000円
重症	0件	0円	0円	0円
合計	10件	75,000円	85,000円	160,000円

2. 貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付

ア. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、高齢者、障がい者の世帯からの相談をうけ、自立更生、生活安定を図るためそれぞれに必要な助言・指導を行うと共に、申請の取り次ぎを行った。

・総合支援資金

種 類	件数(件)	決定金額(円)
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合 計	0	0

・福祉資金

種類	当年度	前年度
住居の移転等給排水設備等に必要経費	0 件 0 円	2 件 379,000 円
その他日常生活上一時的に必要な経費	5 件 402,000 円	6 件 729,000 円
技能習得費及び技能習得支度費	2 件 1,136,000 円	0 件 0 円
緊急小口資金	4 件 369,000 円	3 件 264,000 円
合計	11 件 1,907,000 円	11 件 1,372,000 円

・教育支援資金（教育支援費及び就学支度費）

	当年度	前年度
決定	19 件 10,527,000 円	21 件 10,603,000 円

・不動産担保型生活資金

	当年度	前年度
一般向け	0 件	0 件
要保護世帯向け	0 件	0 件

・生活福祉資金貸付調査委員会

資金の貸付業務の円滑化を図るため、生活福祉資金貸付調査委員会を設置しているが、審議が必要な案件等がないため実施しなかった。

イ. 臨時特例つなぎ資金貸付

解雇や雇い止め等により、住宅を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者等で、公的給付制度等の申請から決定までの生活費を有しない者に対し、生活に必要な費用の貸付けについての相談・申請支援を行う。

貸付件数 0 件 〔前年度 0 件〕

(2)一時貸付金

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

前年度貸付残高	287,000 円
当年度貸付金額 延べ 9 件	65,000 円
償還額 延べ 17 件	93,000 円(うち完済 10 件 72,000 円)
当年度末貸付残高	259,000 円
〔 内訳 1 年以上経過貸付金 259,000 円 〕	
1 年以内償還予定額	0 円

3. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援及び地域における自立、就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的に事業を実施した。

窓口名称を「くらしサポート相談」とし、平塚市役所本館 1 階福祉総務課内に設置した相談窓口にて、貸付事業や援護事業と連携し相談支援及び就労支援を行った。

また、令和4年9月末より特例貸付（総合支援資金）の貸付が終了してもなお失業や収入減が続く世帯への支援策として始まった自立支援給付金の相談及び受付を行った。

(1). 暮らしサポート相談(自立相談支援事業)の運営

ア. 事業の広報

生活困窮者自立支援制度普及広報用「生活困窮者への支援を行う暮らしサポート相談にご相談ください。」のチラシ及びカードを市役所・福祉会館はじめ市内公園トイレ等に配架し周知に努めた。

イ. 会議への参加 2回

- ・ 7月21日（金） ホームレス自立支援に関する意見交換会
- ・ 10月6日（金） 平塚市内のホームレスが起居する施設管理者の情報交換

ウ. 関係機関からの要請による制度や相談窓口に関する説明等の実施 3回

- ・ 4月20日（木） 平塚市役所保健福祉研修
- ・ 6月6日（火） 平塚市人権擁護委員研修
- ・ 3月12日（火） 金目地区民生委員児童委員協議会研修

(2)相談件数 [] 内は前年度件数

ア. 初回相談受付件数		247件	[361件]
イ. 継続相談件数	延べ	3,326件	[4,069件]
ウ. プラン作成数	初回プラン	72件	[123件]
	再プラン	延べ 74件	[146件]
エ. 自立相談支援事業による就労支援	延べ	76件	[160件]
うち、就労支援による一般就労開始及び就労収入増加		29件	[41件]
オ. 住居確保給付金の支給対象者（新規支給決定件数）		7件	[51件]
カ. 訪問相談及び同行支援（アウトリーチ）	延べ	329件	[185件]
キ. ケース会議	延べ	22件	[11件]

(3)支援調整会議

相談者（本人）と相談支援員の協働により作成したプランを基に目標や支援内容を協議し支援方針を共有した。

ア. 定期開催（平塚市）	12回	延べ216件	対象者	192人
（就労準備支援事業）	12回	延べ86件	対象者	8人
			定着支援	5人
イ. 随時開催				
認定就労訓練事業	0回	延べ 0件	対象者	0人
一時生活自立支援事業	1回	延べ 1件	対象者	1人
家計改善支援事業	67回	延べ148件	対象者	13人

(4)生活困窮者自立相談支援事業連携機関連絡会

関係機関に平塚市における生活困窮者自立支援事業の取り組み状況を報告し、さらなる連携を促進するために各機関からのアンケートを踏まえて情報交換会を開催した。

開催日 3月26日(火)
場 所 平塚市保健センター 2階講堂
参加数 関係機関 15ヶ所 参加者 16人
参加機関 平塚保健福祉事務所、平塚公共職業安定所、
平塚市高齢者よろず相談センター(7ヶ所)、医療機関(1ヶ所)、
ライフサポート事業所(1ヶ所)、認定就労訓練事業所(2ヶ所)、
障がい者相談事業所(1ヶ所)、平塚市社会福祉協議会 CSW(1ヶ所)

(5)ホームレス巡回相談

生活困窮者自立支援法の趣旨及び理念を踏まえつつ、基本的に新法に基づく生活困窮者自立支援事業として巡回相談を実施した。

- ・巡回訪問件数 延べ 263件 実人数 35人
- ・巡回実施回数 定期巡回 24回 夜間巡回 1回
※うち4回は、済生会湘南平塚病院と合同巡回を実施
- ・緊急巡回回数 7回 緊急対応

(6)食糧支援

何らかの理由で公的給付を受けることが困難な者や、緊急の支援を必要と認める者に対し、フードバンク湘南との連携による支援のほか、令和2年度より契約を交わしているフードバンクかながわからの食品や閉店したセブンイレブンの寄付品(神奈川県社会福祉協議会経由)など提供いただいた食糧を支援に役立てた。

- ・支援件数 延べ116件

事業区分：公益事業

I. 福祉会館拠点区分

1. 介護者支援事業

(1) 元気応援ポイント事業

ア. ひらつか元気応援ポイント事業

管理機関として元気応援ポイント説明会を実施し、元気応援会員登録や手帳発行、交付金支給等の事業を実施した。

(ア) 説明会 原則毎月1回実施 合計 12回

開催場所：福祉会館、南部福祉会館、西部福祉会館、平塚市保健センター、松が丘公民館、金田公民館

(イ) 説明会参加者 延べ39人

(ウ) 元気応援会員 新規 34人 手帳所持人数 117人

(エ) ポイント換金	60人	現金	168,200円
		元気応援セット	19,610円
		スターライトマネー	5,500円

(オ) 研修会

元気応援ポイント会員の介護予防につながる内容と元気応援活動者の活動紹介を行った。

a. 椅子ヨガで体すっきり 元気Doアップ！」

開催日	開催場所	参加人数
7月21日(金)	福祉会館	19人

b. 知って得する車いす操作

開催日	開催場所	参加人数
10月25日(水)	福祉会館	9人
11月14日(火)	金田公民館	6人

(2) 家族介護リフレッシュ事業

平塚市在住、在勤で自宅または入所先等で家族を介護している方を対象に、あん摩・マッサージ師の有資格者による「腰痛肩こり予防プログラム」で介護疲れを解消していただいた。5月から5類に新型コロナウイルスが移行したため、サロンを再開した。4月13日(木)のリフレッシュプラザ平塚は設備不良のため中止した。9月8日(金)福祉会館での開催は台風のため中止した。

開 催 場 所	平塚市福祉会館	南部福祉会館	西部福祉会館	リフレッシュプラザ*	合 計
開催回数	52 回 〔54〕	15 回 〔15〕	15 回 〔15〕	14 回 〔14〕	96 回 〔98〕
参加人数	288 人 〔270〕	61 人 〔62〕	81 人 〔79〕	44 人 〔51〕	474 人 〔462〕
講師人数	140 人 〔131〕	29 人 〔30〕	41 人 〔35〕	25 人 〔25〕	235 人 〔221〕

〔 〕 は前年度の実績

Ⅱ. 平塚栗原ホーム拠点区分

1. 法人後見事業

(1) 事業内容

平成24年10月から成年後見人等として成年後見制度に基づく高齢者や障がい者等の身上保護や財産管理を本会が法人として担い、権利擁護を図ることを目的として法人後見事業（ひらつかあんしんセンター）を実施した。

(2) 相談援助活動

	当年度	前年度
問い合わせ、相談件数（総数）	591 件	603 件
後見人等の依頼相談（ケース相談）	3 件	28 件
法人後見事業に関するもの（日常支援）	544 件	511 件
関係機関等からの問い合わせ等	44 件	64 件

(3) 受任件数、後見人等候補者申立件数

ア. 受任件数（年度末時点） 35 人

内 訳	後 見	保 佐	補 助	受任件数
認知症高齢者	21 人 [21]	3 人 [3]	1 人 [1]	25 人 [25]
知的障がい者	3 人 [2]	0 人 [0]	0 人 [0]	3 人 [2]
精神障がい者	6 人 [5]	1 人 [1]	0 人 [0]	7 人 [6]
合 計	30 人 [28]	4 人 [4]	1 人 [1]	35 人 [33]

※ [] は、前年度実績

イ. 後見人等候補者申立て件数 9 件

（市長申立て9件、本人申立て0件、家族申立て0件）

(4) 訪問活動

専門員等の訪問調査、支援活動

延べ 713 回

(5) 法人後見事業審査会兼ひらつかあんしんセンターあり方検討委員会

ア. 開催回数 11 回

イ. 審査内容（単位：件）

対象者 項 目		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他・ 不明	合計
審査 内容	審査	7 件	1 件	0 件	0 件	8 件
	相談・助言	40 件	3 件	12 件	1 件	56 件
	終了（死去等）	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
	その他	5 件	0 件	0 件	0 件	5 件
審 査 合 計		53 件	4 件	12 件	1 件	70 件

(6)市民後見人の養成

市民後見人としての受任を目指し、市民後見人養成講座（実践研修）修了者を、平成26年度から後見支援員として雇用した。

後見支援員 21人

ア. 後見支援員全体会（研修及び情報交換） 6回

イ. 後見支援員による支援活動 101回

2. 居宅介護支援事業

(1)事業内容

ケアマネジャーが利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し事業者や関係機関との連絡調整を行った。

開所 平日8:30~17:00（夜間、土日祝日は24時間体制）

(2)ケアプラン作成等

高齢者等を対象に介護保険サービスなどの相談やケアプラン作成等を実施した。

ア. 相談、調査件数

内訳	当年度	前年度
電話相談	5,049件	5,218件
来所相談	45件	74件
ケアプラン作成訪問	2,324件	2,150件
申請代行訪問	89件	210件
その他訪問	674件	1,203件
サービス担当者会議	349件	456件
合計	8,530件	9,311件

イ. ケアプラン作成件数 年間延べ 要支援 251件 要介護 2,319件

内訳	当年度	前年度
要支援	251件	301件
要介護1	614件	733件
要介護2	710件	664件
要介護3	507件	502件
要介護4	274件	278件
要介護5	214件	134件

ウ. 要介護認定調査

内訳	当年度	前年度
平塚市より委託	109件	131件
市外より委託	13件	9件

(3)特定事業所としての活動

ア. 加算会議（週1回）、定例会議の開催

困難ケースの検討、制度やケアマネジメント技術の確認等を行った。

イ. 市内居宅介護支援事業所合同研修会の開催 年 3 回
他の事業者にも声掛けをして開催した。 参加 6 事業所 延べ人数 31 人

ウ. 職員の外部研修会への参加
ひらつか地域介護システム会議の居宅介護支援事業所連絡会や地域包括支援センター主催の事例検討会等に参加した。 年 12 回

3. 地域包括支援センター事業 (平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき)

(1) 事業内容

地域の高齢者が可能な限り自宅で日常生活を続けられるようにするため、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援し、地域包括ケアの実現を目的としている。

高齢者よろず相談センターゆりのきは、崇善地区と松原地区を担当し、地区内の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防等の必要な支援として、以下の事業を展開した。

(2) 総合相談

ア. 相談形態

	当年度	前年度
来所相談	54 件	158 件
電話相談	717 件	1,461 件
訪問相談	166 件	365 件
その他	18 件	9 件
相談総数（延べ）	955 件	1,993 件

イ. 相談内容

内訳	当年度	前年度
介護保険	663 件	1,066 件
在宅高齢者福祉サービス	12 件	18 件
権利擁護関係	6 件	49 件
高齢者虐待関係	0 件	73 件
保健・医療	69 件	296 件
高齢者調査	4 件	10 件
認知症（疑い）	128 件	363 件
経済苦	11 件	19 件
精神疾患（疑い）	32 件	23 件
障がい福祉サービス	1 件	1 件
生活福祉サービス	2 件	5 件
消費者問題	1 件	1 件
複合	3 件	10 件
その他	27 件	9 件

(3) 居宅介護支援専門員への支援

- ・ 困難事例を抱える介護支援専門員への対応等 15 件
- ・ 地域内ケアマネジャーとの交流会 2 件

・地域内ケアマネジャーとの研修会	0 件
・事例検討会	0 件
・居宅介護支援事業所訪問	9 件

(4)医療機関等訪問

ア. サポート医訪問	5 件
上記以外ケースを通じて医療機関を訪問	3 8 件
イ. 在宅支援拠点薬局訪問	1 0 件

(5)地域ケア会議、個別ケア会議

ア. 地域ケア会議	8 回
※松原地区は地域ケア会議と協議体会議を一体化して開催	
イ. 個別ケア会議	0 回
※ケースカンファレンスは2 6 回開催	

(6)担当地域内の各種会議等の出席状況

ア. 地区民生委員児童委員協議会定例会	6 回
イ. 地区社協定例理事会	0 回
ウ. 町内福祉村定例理事会（協議体含む）	0 回
エ. 地域包括支援センター連絡会	4 8 回（書面、オンラインを含む）
（管理者連絡会、地域支援担当者連絡会、主任ケアマネ連絡会、介護予防事業連絡会、認知症地域支援推進員等）	
オ. 地域のインフォーマルサービス関係	2 0 回
（地域のサロン等含む）	
カ. 事業所運営推進会議	6 回

(7)ゆりのき予防サロン

・開催数	1 5 回	参加者延べ	5 1 7 人
※令和2年4月から、ゆりのきサロンとゆりのき介護予防教室を一体的に実施			

(8)認知症サポーター養成講座

一般向けの講座以外に金融機関や崇善地区社協からの依頼で認知症サポーター養成講座を実施した。

ア. 認知症サポーター養成講座			
・開催数	3 回	参加者延べ	6 6 人
イ. 認知症サポーター上級研修			
・開催	1 回	参加者	1 1 人

(9)ゆりのきオレンジカフェ（認知症カフェ）

・開催数 12回 参加者延べ 70人

(10)ゆりのき通信の発行

・発行回数 3回
(崇善・松原地区自治会加入世帯への回覧、医療機関・薬局・公民館等への配布)

(11)民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会

・開催数 2回 参加者延べ 42人

(12)実習生の受け入れ、演習・研修対応

・平塚看護大学校 7人

(13)介護予防支援事業所業務

ア. 介護予防ケアプラン

	当年度	前年度
予防給付 (給付管理実績)	2,792件 (うち委託471件)	2,656件 (うち委託526件)

イ. サービス担当者会議（委託分含む） 209回〔228回〕

ウ. 介護認定調査件数 28件〔58件〕

(14)職員のスキルアップ研修

36回 延べ58人

- ・総合相談で様々な制度をどのように活用するか
- ・介護予防に活かせる地域診断
- ・マネジメントに活かすコミュニケーション技術 他

4. 成年後見制度利用支援事業

(1) 事業内容

判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として事業を実施した。

(2) センターの運営状況

ア. 開所日数 252日（土曜開所日 12日を含む）〔前年度 252日〕

イ. 普及宣伝

- ・広報ひらつか、タウンニュースにて広報した。
- ・成年後見制度普及広報用パンフレット「成年後見制度を知っていますか？」やリーフレットを作成、配布した。

- ウ. 会議等
 - ・平塚市成年後見支援ネットワーク連絡会（21 団体・機関等） 2 回
- エ. 企画運営会議 4 回
- オ. ケース検討調整会議 10 回

(3)成年後見制度の相談

ア. 相談件数

	当年度	前年度
初回相談件数	273 件 (内訳:電話 216 件、来所 57 件)	302 件
継続相談件数	818 件 (内訳:電話 569 件、来所 249 件)	471 件

- イ. 専門相談
 - ・弁護士による専門相談 12 回

(4)親族後見人等の後見活動の支援

申立を考えている親族の方や、すでに親族後見人になっている方に対して、セミナー講習会・交流会を開催した。

- ア. 親族後見予習セミナー 2 回 計 34 人参加
- イ. 親族後見人講習会・交流会 2 回 計 7 人参加

(5)市民後見人の養成、活動

- ア. 平塚市権利擁護人材育成講座・市民後見人養成講座
 - ・第八期実践研修 全8日間 受講者6人 修了者6人
- イ. 後見サポーター（後見支援員・第一期～第七期）活動支援等
 - ・後見サポーター全体会（研修及び情報交換） 6 回
 - ・市民後見人フォローアップ研修 2 回

(6)法人後見受任団体の支援

法人後見受任団体との意見・情報交換として専門職団体等と連携し、情報共有及び後見活動の資質向上を目的とした第三者後見人研修交流会（3/21）を開催した

(7)成年後見業務に係る関係機関との連携及び情報提供

家庭裁判所、行政機関、県社協、近隣市町社協等と連携し体制整備を行うとともに、成年後見制度の利用推進を図った。

- ・湘南西部成年後見制度利用支援連絡会 2 回 計 19 人
- ・成年後見制度利用促進連絡協議会（県・県社協主催） 1 回 68 人参加
- ・成年後見制度の利用促進に関する連絡・調整会議（県・県社協主催）
1 回 31 人参加
- ・出張講座（市民・企業等向け） 31 件 受講者延べ人数 646 人
- ・第三者後見人研修交流会 1 回 参加者 20 人

5. 高齢者権利擁護応急的事務管理事業

(1) 応急的事務管理事業

判断能力が低下し、財産を管理することが困難となった高齢者に対し、生命、健康及び財産の保護を図るため、成年後見人等が選任され法定代理人が財産の管理をするまでの間、事務管理として実施する費用の立替えを行う。平成 28 年度から事業を開始。

ア. 応急事務管理会議全体会議

応急的事務管理について、その実施の可否及び方針について意見を聴くための委員を定め、会議を開いた。

・ 3 月 14 日(木) (オンライン開催) 委員 弁護士 4 人、社会福祉士 3 人

イ. 応急的立替払いの実績

当年度貸付額	0 円
当年度償還額	0 円
当年度末立替残高	0 円

6. 在宅医療・介護連携推進事業

「地域包括ケアシステム」の一環として、高齢者等が医療と介護が必要となる状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を営むことができるよう、「医療」と「介護」の連携を促進していくための窓口となることを目的として事業を実施した。

(1) 平塚市在宅医療・介護連携支援センターの運営

ア. 開所日数 2 4 5 日 [前年度 2 4 2 日]

イ. 定例会議

平塚市医師会、平塚市地域包括ケア推進課との 3 者で毎月 1 回定例会議を開催し、企画の立案、情報の共有、意見交換等を行った。

1 2 回 (4 月のみ対面開催。オンライン開催)

ウ. 平塚市在宅医療介護連携推進協議会で相談・研修開催等の報告を行った。

延べ 3 回出席 オンライン出席

エ. 各種会議への出席

システム会議サービス向上検討部会出席

延べ 6 回出席

終末期に向けた活動支援事業検討会出席

延べ 2 回出席

在宅介護サポート事業 ワーキング会議

延べ 4 回出席

(2) 地域の医療・介護の資源の把握

ア. ひらつか介護サービス (医療対応) 一覧を作成

配布先：医療機関 (1 2 病院)、平塚市医師会、平塚歯科医師会、

平塚中郡薬剤師会、平塚市高齢者よろず相談センター (1 3 か所) 等

イ. 介護タクシー福祉有償運送情報一覧を作成

配布先：医療機関（１２病院）、公民館、平塚市高齢者よろず相談センター（１３か所）等

ウ. 平塚市在宅医療・介護連携支援センターホームページの運用

<https://hmc-renkei.jp/>

・セッション数 ユーザーのWebサイト訪問回数をGoogleアナリティクスで集計
3,924回 〔前年度3,679回〕

エ. SNS（Facebook）運用

(3)在宅医療・介護関係者に関する相談支援件数

相談者分類

単位：件、〔 〕内は前年度件数

病院	診療所	地域包括	ケアマネ	薬局	訪問看護	市民	行政	介護事業所	その他	合計
14 〔6〕	8 〔2〕	42 〔19〕	16 〔17〕	2 〔0〕	7 〔1〕	7 〔17〕	9 〔1〕	16 〔1〕	27 〔10〕	148 〔74〕

相談項目分類（延べ数）

単位：件、〔 〕内は前年度件数

相談者 相談項目	病院	診療所	地域包括	ケアマネ	薬局	訪問看護	市民	行政	介護事業所	その他	合計
入退院連携	1 〔1〕	0 〔0〕	4 〔0〕	2 〔1〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	8 〔2〕
かかりつけ 医・ 往診医の紹介	0 〔1〕	0 〔0〕	2 〔1〕	6 〔4〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	3 〔4〕	11 〔10〕
医療資源 （専門医 歯科医、薬局）	2 〔0〕	1 〔0〕	18 〔8〕	9 〔2〕	0 〔0〕	0 〔1〕	3 〔2〕	2 〔0〕	6 〔0〕	11 〔2〕	52 〔15〕
社会資源	1 〔2〕	0 〔1〕	8 〔6〕	2 〔5〕	0 〔0〕	1 〔0〕	6 〔13〕	2 〔1〕	2 〔0〕	11 〔2〕	33 〔30〕
医療介護に 関する用語	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	2 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	3 〔0〕
訪問看護 （訪問内容、 空き状況等）	1 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	2 〔1〕	4 〔1〕
ケアマネジャー	1 〔0〕	0 〔0〕	3 〔0〕	1 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	6 〔0〕
介護サービス	0 〔1〕	0 〔1〕	10 〔1〕	3 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	3 〔0〕	18 〔3〕
医療・介護 関係者の研修	1 〔0〕	0 〔0〕	2 〔0〕	5 〔0〕	0 〔0〕	1 〔0〕	0 〔0〕	2 〔0〕	0 〔0〕	4 〔0〕	15 〔0〕

	病院	診療所	地域包括	ケアマネ	薬局	訪問看護	市民	行政	介護事業所	その他	合計
地域住民への啓発	0 〔0〕	0 〔0〕	7 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	7 〔0〕
困難事例の支援	0 〔0〕	0 〔0〕	16 〔0〕	1 〔4〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	8 〔0〕	25 〔4〕
その他	2 〔1〕	0 〔0〕	6 〔6〕	5 〔3〕	1 〔0〕	1 〔0〕	1 〔3〕	3 〔0〕	1 〔1〕	3 〔2〕	23 〔16〕
相談項目別集計	9 〔6〕	1 〔2〕	77 〔22〕	36 〔19〕	1 〔0〕	4 〔1〕	11 〔18〕	9 〔1〕	10 〔1〕	47 〔11〕	205 〔81〕

(4)研修及び普及啓発

ア. 医療・介護関係者の研修 18 件 延べ参加人数 381 人
「非ガンの方の在宅緩和ケア」「精神科病院等との良い連携にむけて～特色や相談方法を学ぶ～」 「病院で働く皆さまにもっと施設を知ってもらいたい研修会」等

イ. 地域住民への普及啓発 4 件 延べ参加人数 188 人
人生会議「もしものとき」のために～認知症になっても自分らしく生きていく～等

ウ. センター職員自主研修 17 件 延べ参加人数 17 人

7. システム会議運営事業

本会が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として運営した。

(1)ひらつか地域介護システム会議

ア. 総会 1 回

イ. 幹事会 2 回

ウ. 会計監査 1 回

エ. 介護情報推進部会 0 回

オ. サービス向上検討部会 6 回

(2)事業別連絡会(35回)

ア. 居宅介護支援連絡会 6 回 (うち 1 回オンライン・2 回ハイブリッド)

イ. 訪問介護連絡会 1 回 (ハイブリッド)

ウ. 訪問入浴連絡会 0 回

- エ. 訪問看護連絡会 6回
- オ. 通所サービス連絡会 4回（うち3回オンライン）
- カ. 福祉用具・住宅改修連絡会 6回
- キ. 介護保険施設連絡会 0回
- ク. グループホーム連絡会 6回（うち1回書面・3回ハイブリッド）
- ケ. 小規模多機能連絡会 6回（うち1回書面・3回ハイブリッド）
 ※グループホーム連絡会と小規模多機能連絡会については合同開催として実施

(3) ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

- ア. 全体イベント 0回
- イ. 居宅介護支援連絡会 6回
 ・ 介護保険制度改正説明会 近隣市町村含めハイブリッド開催
 ケアマネサロン 4回
- ウ. 訪問介護連絡会 1回
- エ. 訪問入浴連絡会 (休止)
- オ. 訪問看護連絡会 1回
- カ. 通所サービス連絡会 1回
- キ. 福祉用具・住宅改修連絡会 2回
 ・ 平塚市防災フェア参加・出展
 ・ 福祉用具展示会 実施
- ク. 介護保険施設連絡会 (休止)
- ケ. グループホーム連絡会 0回
 「動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか」動画作成
- コ. 小規模多機能連絡会 0回
 「動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか」動画作成

(4) ホームページの運営

ひらつか地域介護システム会議（ひらのすけ） <https://www.hiranosuke.jp>

事業区分：収益事業

I. 福社会館指定管理拠点区分

1. 福社会館運営事業

(1) 管理運営事業

指定管理者制度における平塚市福社会館の管理運営を行った。また高齢者及び障がい者等の福祉の増進と生活向上のための各種事業を行った。

ア. 会議室等の利用状況

高齢者、障がい者、福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため生活支援等、各種相談の場を提供した。

開館日数 317日 [前年度 316日]

利用状況 延べ 30,231人 [前年度 25,669人]

	当年度	前年度		当年度	前年度
第一会議室	5,460人	5,061人	集会室	2,140人	1,512人
第二会議室	9,095人	7,708人	身障判定室	0人	0人
第三会議室	5,401人	4,528人	料理講習室	761人	538人
第四会議室	3,072人	3,158人	B相談室	1,061人	795人
奉仕活動室	1,494人	1,342人	C相談室	503人	308人
身障いこい室	747人	655人	D相談室	497人	64人

イ. 障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

利用状況 延べ 3,169人 [前年度 3,609人]

	当年度	前年度
点訳奉仕室	1,576人	1,511人
図書室	224人	273人
録音奉仕室	418人	470人
ボランティア活動室	951人	1,355人

ウ. おもちゃば〜く

子育て支援とボランティアの育成、交流の場として集会室で実施した。

開催 32回（第1・第2・第3金曜日午前） [前年度 35回]

利用者 262人 118組 [前年度 394人 169組]

エ. 広報活動

福社会館のホームページやX（旧ツイッター）にて情報の提供を行うほか「福社会館だより」を年3回発行し、福社会館で配布し利用者へ情報提供した。

(2) 高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者健康・教養講座や福祉会館まつりを実施した。

ア. 講座開催

講座	定員	回数	参加者数	延べ受講人数
モルック体験講座	20 人	1 回	14 人	14 人
男の料理教室	8 人	2 回	16 人	16 人
スマホの使い方相談会	4 人	6 回	16 人	16 人
「懐かしの流行歌音楽会」	30 人	1 回	23 人	23 人
初めてのスマホ体験講座	10 人	5 回	51 人	51 人
「美味しいアイス珈琲の淹れ方講座」	12 人	4 回	45 人	45 人
「高齢者のための初めての資産運用」	30 人	1 回	27 人	27 人
「高齢者のための睡眠マネジメント」	30 人	1 回	17 人	17 人
「楽しくシニアライフを過ごすために」	30 人	1 回	7 人	7 人
サクソ&ピアノジョイントコンサート	30 人	1 回	40 人	40 人
「災害時にできる食事対策」	12 人	1 回	5 人	5 人
「秋から冬の流星と天文現象」	30 人	1 回	15 人	15 人
「クリスマスコンサート 楽しいハーモニカなでしこの会」	50 人	1 回	24 人	24 人
「ふれあいカラオケ大会」	20 人	2 回	65 人	65 人
「美味しい珈琲の淹れ方講座」	12 人	3 回	26 人	26 人
「健康のための詩吟講座」※	15 人	1 回	12 人	12 人
「電磁調理器を使ってみよう」	8 人	2 回	6 人	6 人
「消費生活教育講座」	30 人	1 回	7 人	7 人
『マンドリンアンサンブル「やよい」2024 春のコンサート』	50 人	1 回	38 人	38 人
「優しいヨガ講座」※	9 人	4 回	28 人	28 人
「UD ダンスを踊ろう」※	20 人	4 回	9 人	35 人
「自分でできる腰痛対策」※	9 人	4 回	33 人	33 人
合 計	469 人	48 回	524 人	550 人

※は、障がい者も参加対象な講座

イ. 福祉会館まつり

10月20日(金)・21日(土)の2日間開催

・入館者 2,009 人 [前年度 1,330 人]

・催物団体：21 団体（3階大広間）

発表内容：落語、日本舞踊、音楽演奏、コーラス、リズム体操、フラダンス、マジック、詩吟、カラオケ、お遊戯他

・展示団体：9 団体（1階、2階ボランティア活動室）

展示内容：手芸、水彩画、書道、絵手紙、写真、各種作品、活動案内他

・販売団体：7 団体（1階ロビー）

平塚市障がい者団体連合会（平塚市肢体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・湘南あゆみ会）

地域作業所連絡会（地域活動支援センターひのき・山晃央園・ベルカンパニー）

ひらつか障がい者福祉ショップありがとう

ウ. 利用者による園芸ボランティア 合計11日 参加者延べ25人

- エ. 視察、実習等の受け入れ
神奈川県立平塚看護大学校 6月7日(水) 8日(木)延べ学生23人 教員1人

(3)利用者の声

利用者の方々の意見や要望等を伺うために、利用者アンケートや利用者懇談会を行った。
寄せられた意見や要望については、その内容や時期について検討した。

- ア. 利用者、利用団体へアンケートを実施
期 間：11月15日(水)から11月30日(木)
対象者：福祉会館会議室及び老人福祉センター利用者 638人回答
・ロッカーや収納スペースがほしい、2階廊下に点字ブロックを設置してほしい
- イ. 福祉会館に関する意見（市長への手紙・市民の声等）3件
・3階老人福祉センター入館手続きについて
・職員と思われる者への通勤態度について
・窓口の職員対応について
- ウ. 利用者懇談会
(ア) 会議室等利用団体との懇親会
3月13日(水)利用団体の老人クラブ、平塚市障がい者団体連合会、平塚ボランティア連絡会との懇談会を実施
福祉会館利用にあたり、課題や問題点の情報交換をする
・利用者アンケート集計の結果について
・会議室利用時間の変更について
・福祉会館まつり予定や駐車場駐輪場について
- (イ) 老人福祉センター利用者から意見聴取
3月23日(土)3階利用者の方に懇談会を実施
・大広間での囲碁ボールやモルックは和気あいあいとやりたい。
・入浴時間の制限をなくして欲しい。
・お風呂のドライヤーのコンセントが少ない。

Ⅱ. 平塚栗原ホーム指定管理拠点区分

1. 平塚栗原ホーム運営事業

(1)管理運営事業

平塚市から指定管理者の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

ア. 会議室貸出実績 [] は前年度

	回数	利用人数
大会議室	224回〔220回〕	3,222人〔2,998人〕
小会議室	75回〔71回〕	334人〔558人〕
その他の会議室	102回〔103回〕	672人〔648人〕

主な利用団体 転倒骨折予防／フレイル予防サークル、しらゆり保育園、
神奈川社会福祉専門学校等

1. 社会福祉基金事業一覧表

令和5年度平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

サービス区分	基金事業名	予算額	決算額	差異	備考
団体支援事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	4,043,000	4,042,897	103	23地区社協活動費 自治会加入加算 地区ふれあい福祉相談事業 高齢者等サロン事業
	地域活動支援センター利用者活動促進事業	806,000	805,900	100	4か所助成
ボランティア活動支援事業	①一般市民向けボランティア養成講座等	350,000	181,134	168,866	各種ボランティア養成講座、出張の講座経費等
	②専門ボランティア養成講座等	421,000	346,000	75,000	点訳講習会 手話講習会①、手話講習会② 要約筆記講習会 音訳講習会 傾聴講習会 精神保健福祉ボランティア養成講座 視覚障がい者スマートフォン講座 中途失明者対象点字講座
	音訳ライブラリー整備事業	50,000	50,000	0	音訳ライブラリー運営経費
	ボランティアグループ活動費助成	2,041,000	1,850,680	190,320	グループ助成 37団体（市域16、地域21）
	点訳・音訳奉仕団事業助成	95,000	95,000	0	点訳赤十字奉仕団 85,000円 音訳赤十字奉仕団 10,000円
	ボランティア連絡会助成	170,000	170,000	0	広報紙等の発行費用、研修会経費等
	災害ボランティアネットワークセンターの整備費用	0	0	0	センター運営資材等
緊急援護事業	緊急援護事業	40,000	20,200	19,800	旅費困窮者に300円支給 緊急を要する場合の飲食物品、被服等の支給
在宅援護事業	低所得世帯の慰問活動（夏期）	3,595,000	3,575,000	20,000	1人世帯@5,000円×41世帯 2人以上世帯@10,000円×337世帯
	入学卒業祝金等支給事業	3,750,000	3,230,000	520,000	①低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給 小@20,000円×57人＝1,140,000円 ②低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成 小男女@10,000円×19件＝190,000円 中男女@20,000円×38件＝760,000円 ③低所得世帯生徒の中学校卒業祝金支給 中学3年@20,000円×50件＝1,000,000円 ※前年度分 140,000円
	寝たきり高齢者等慰問事業	156,000	139,680	16,320	1回目 120人、2回目 108人 計 228人
障がい者福祉事業	点字図書購入費助成	30,000	23,000	7,000	2件（上限1人30,000円）
	移送サービス事業	390,000	215,623	174,377	特別支援学校等送迎 利用者＝4人、延べ利用回数＝590回 運転ボランティア＝5人登録
子ども家庭福祉事業	子育て支援ネットワーク事業	451,000	362,508	88,492	委員旅費、講師謝礼、通信運搬費、チラシ作成
	子ども貧困対策支援事業	710,000	556,130	153,870	市域活動団体 100,000円×2件＝200,000円 地域活動団体 50,000円×7件＝350,000円 振込手数料2,970円切手代3,160円
貸付事業	高齢者権利擁護応急的事務管理事業	0	0	0	平成28年度に原資として300万円拠出済み
合計		17,098,000	15,663,752	1,434,248	

令和5年度 平塚市社会福祉基金 拠出項目管理

(単位 円)

項目	期首	増加	減少	期末残高	説明
高齢者権利擁護 応急の事務管理事業	3,000,000	0	0	3,000,000	平成28年度に原資拠出
事業資金貸付	7,660,535	0	1,505,981	6,154,554	平成29年度に平塚栗原ホーム事業資金を貸付

2. 年末たすけあい配分事業一覧表

令和5年度配分結果

(単位 円)

区分	配 分 内 容	件 数	金 額
在宅 援 護 事 業	生計困難世帯に年末慰問金 (1人世帯 5,000円 2人以上世帯 10,000円)を配分	407世帯	3,875,000
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1人15,000円)を配分	児童数71人	1,065,000
	修学旅行支度費 (小学生5,000円 中学生10,000円)を配分	61人 (小学生25人/ 中学生36人)	485,000
	小 計		5,425,000
	地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー 等 補 助 事 業	地域活動支援センターの事業運営に対して配分 1か所あたり 上限100,000円	14か所
障がい者グループホーム・ケアホームの事業運営等に配分 1か所あたり 上限60,000円		6か所	208,240
障がい児学童保育事業の運営等に配分 1か所あたり 上限35,000円		8か所	263,465
小 計		1,394,648	
団 体 支 援 事 業		地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費（三世代交流事業） として配分 1地区あたり上限72,000円23地区計1,656,000円 サロン開催事業費（10地区） 246,970円	23地区社協 10地区社協
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	2,768,000
	在住外国人共生事業 支援団体へ事業費として配分	3か所	350,000
	福祉団体等へ補助金として配分 平塚市自治会連絡協議会 700,000円 社会を明るくする運動実行委員会 180,000円 平塚市母子福祉なでしこ会 36,000円 平塚市老人クラブ連合会 90,000円 あおぞら里親会 36,000円 福祉当事者団体 36,000円×12団体	17団体	1,474,000
	小 計		6,494,970
	調査研究 企画広報		1,342,000
	事務費		47,991
	合 計		14,704,609